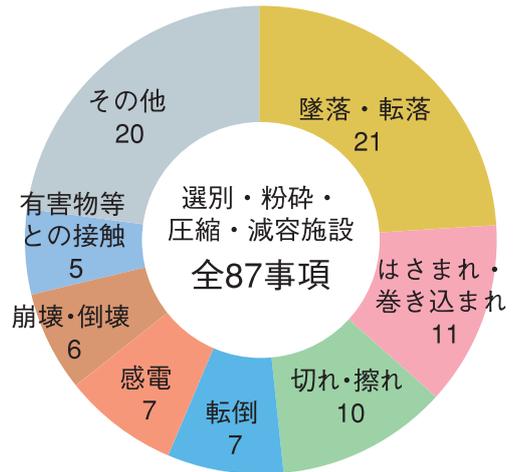


# 4

## 選別・粉碎・圧縮・減容施設

リサイクルできるごみも、ごみ最終処分場も、限りある資源です。こうした資源の有効活用のためごみを分別・減容する工程がありますが、重厚な構造物や機械が多く、人との接触によるリスクが危ぶまれています。

この工程には全87件のアドバイスがありました。その中で「墜落・転落」の災害を想定した指摘が最も多く、「はさまれ・巻き込まれ」「切れ・擦れ」「転倒」「感電」が、それに続きます。



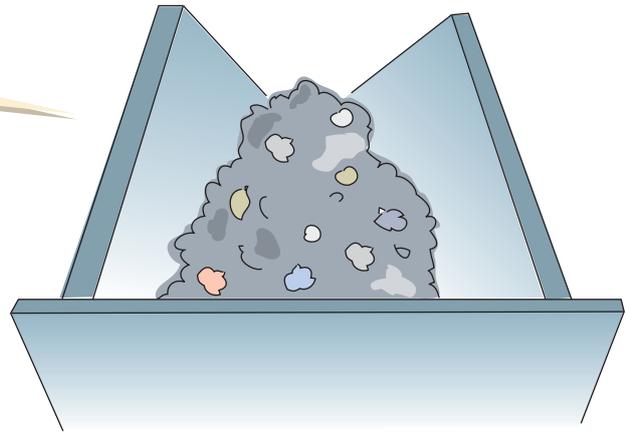
### 指摘1

### 墜落 転落

#### 大型破碎機のピットに囲いが無く、墜落の可能性がある

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

破碎されるごみがたまっており、落ちれば怪我をする場所にも関わらず、囲いも手すりもありません。墜落・転落防止対策を施してください。



### 指摘2

### 墜落 転落

#### 破碎機の詰まり除去時に点検口から転落する危険

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

破碎機上部の点検口から詰まりを除去しようと身を乗り出すと、転落する危険性があります。点検口の蓋が開いたら機械が止まる仕組みを導入することを強く勧めます。点検は必ず機械を止めて慎重に行うよう教育・表示を行ってください。



### 参考 法規

安衛則 第107条 (そうじ等の場合の運転停止等)

事業者は、機械(刃部を除く。)のそうじ、給油、検査又は修理の作業を行なう場合において、労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、機械の運転を停止しなければならない。ただし、機械の運転中に作業を行なわなければならない場合において、危険な箇所に覆いを設ける等の措置を講じたときは、この限りでない。

2 事業者は、前項の規定により機械の運転を停止したときは、当該機械の起動装置に錠をかけ、当該機械の起動装置に表示板を取り付ける等同項の作業に従事する労働者以外の者が当該機械を運転することを防止するための措置を講じなければならない。

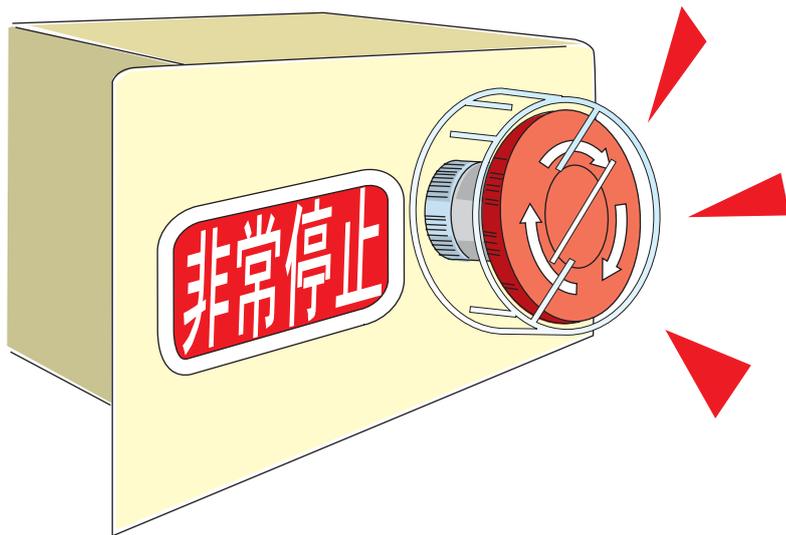
指摘3

はさまれ  
巻き込まれ

非常停止ボタンにカバーが

職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

大型破砕機の非常停止ボタンにカバーがかかったままです。しかし、このボタンを押す必要のある時は、一刻を争うときです。カバーは外しておきましょう。



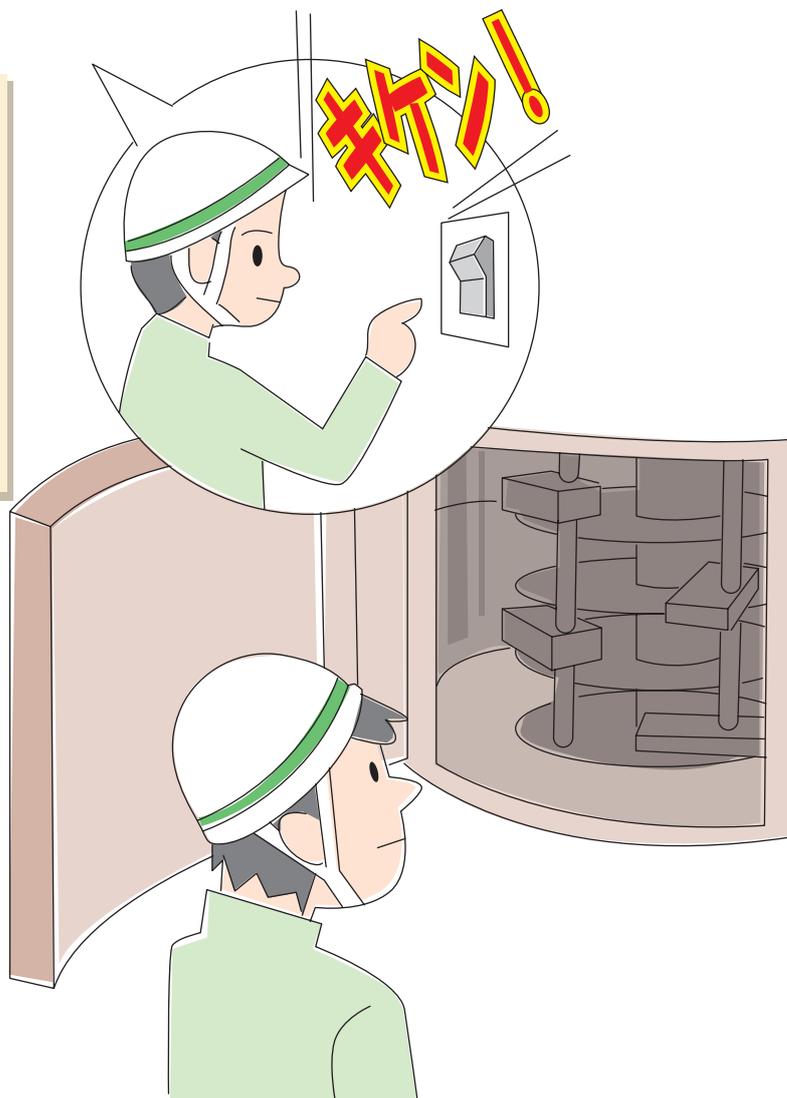
指摘4

切れ  
擦れ

破砕機の刃の交換

職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

1階の破砕機の刃の交換作業中、別の者が2階の設備の起動スイッチを入れると、事故になります。作業員自身が安全プラグを持って作業するなど、不意の起動が起こらない措置・仕組みを構築してください。



参考  
法規

安衛則 第104条 (運転開始の合図)

事業者は、機械の運転を開始する場合において、労働者に危険を及ぼすおそれのあるときは、一定の合図を定め、合図をする者を指名して、関係労働者に対し合図を行なわせなければならない。

2 労働者は、前項の合図に従わなければならない。

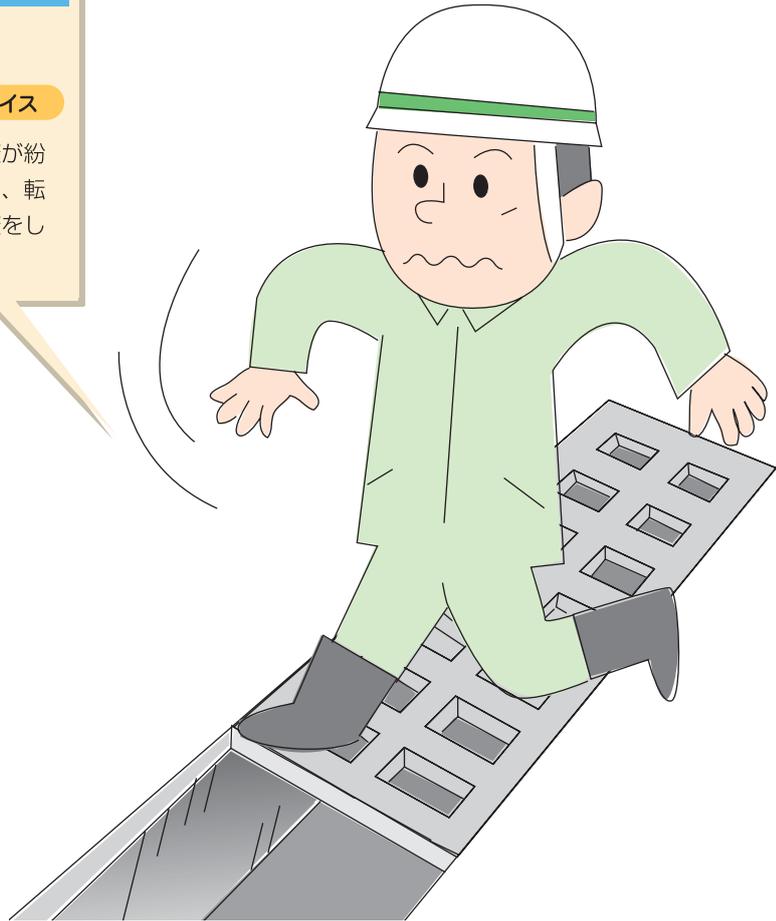
## 転倒

指摘5

### 溝の蓋が無い

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

作業員が通行する場所ですが、溝の蓋が紛失しています。足を取られ捻挫をしたり、転倒したりする恐れがあります。早急に蓋をしてください。



④ 選別・粉碎・圧縮・減容施設

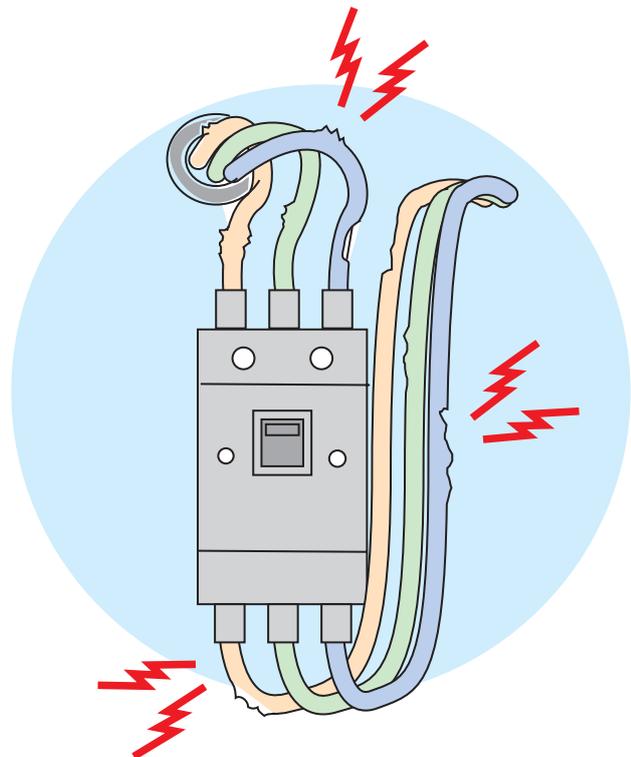
## 感電

指摘6

### コードの外皮が剥がれている

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

200Vコードのコンセント部分の外皮が剥がれています。うっかり触ると感電の危険があります。すぐに補修してください。



参考  
法規

安衛則 第540条 (通路)

事業者は、作業場に通ずる場所及び作業場内には、労働者が使用するための安全な通路を設け、かつ、これを常時有効に保持しなければならない。

2 前項の通路で主要なものには、これを保持するため、通路であることを示す表示をしなければならない。

崩壊

指摘7

パレットが積まれすぎ

職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

30枚以上のパレットが積み上げられ、大変危険です。積む高さの制限をして、崩落防止を図ってください。



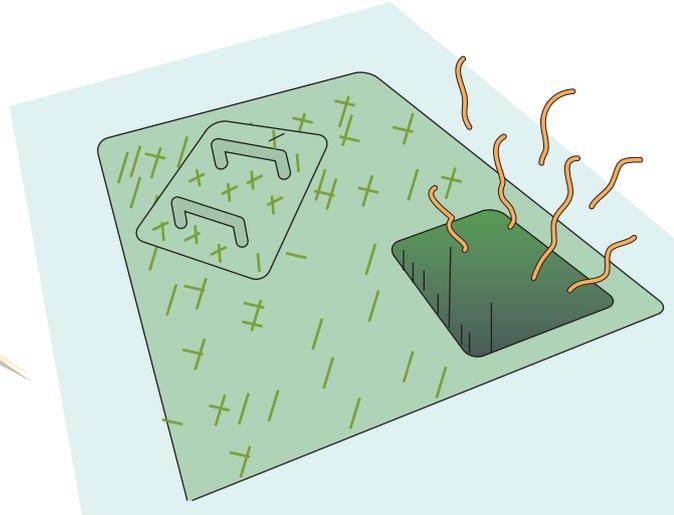
有害物等との接触

指摘8

洗浄水が溜まるピット

職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

空き缶処理施設の洗浄水が溜まるピットは、酸欠場所に該当します。ピットに入る場合は、換気をして、酸素濃度の測定を行ってください。酸欠の作業主任者選任など、規則に従い作業手順を構築してください。



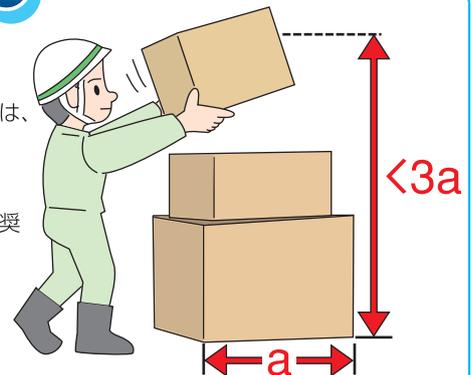
参考法規

酸素欠乏症等防止規則第3条（作業環境測定等）  
事業者は、令第二十一条第九号に掲げる作業場について、その日の作業を開始する前に、当該作業場における空気中の酸素（第二種酸素欠乏危険作業に係る作業場にあつては、酸素及び硫化水素）の濃度を測定しなければならない。

参考にしたいコラム

積む高さの目安

中央労働災害防止協会では、力学的見地から「短辺 × 3倍」の高さに止めることを推奨しています。

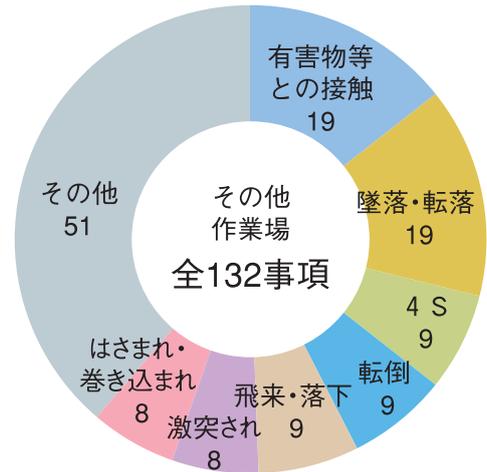


# 5

## その他作業場

ここでは、「焼却施設」「選別・粉碎・圧縮・減容施設」以外の作業場、報告書から施設内容が判然としなかった作業場について、職場環境改善アドバイザーが指摘した事項をいくつか紹介します。

全132件のアドバイスの中で、「有害物等との接触」「墜落・転落」という災害を想定した指摘が最も多く、他に「4S」「転倒」「飛来・落下」「激突され」「はさまれ・巻き込まれ」の事項が多く指摘されています。



### 有害物等との接触

指摘1

#### 有機溶剤が不適切な場所に

##### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

整備棟内の換気設備の無い物置に、塗料及びシンナー類の有機溶剤が保管されていました。屋内に有機溶剤を貯蔵する場合、関係労働者以外の者が容易に立ち入ることができない措置、換気設備が必要です。有機溶剤は、専用の保管庫に貯蔵してください。



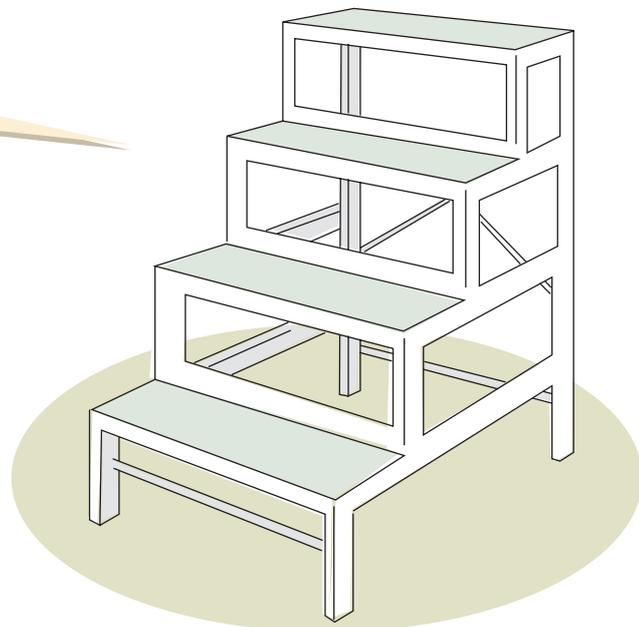
### 墜落 転

指摘2

#### 手すりの無い作業台

##### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

作業台に手すりがありません。高所（2メートル以上）でなくても転落による事故が想定される高さなら、手すりをつけたものを使用すべきです。



### 参考法規

有機溶剤中毒予防規則 第35条 （有機溶剤等の貯蔵）

事業者は、有機溶剤等を屋内に貯蔵するときは、有機溶剤等がこぼれ、漏えいし、しみ出し、又は発散するおそれのないふた又は栓をした堅固な容器を用いるとともに、その貯蔵場所に、次の設備を設けなければならない。

- 一 関係労働者以外の労働者がその貯蔵場所に立ち入ることを防ぐ設備
- 二 有機溶剤の蒸気を屋外に排出する設備

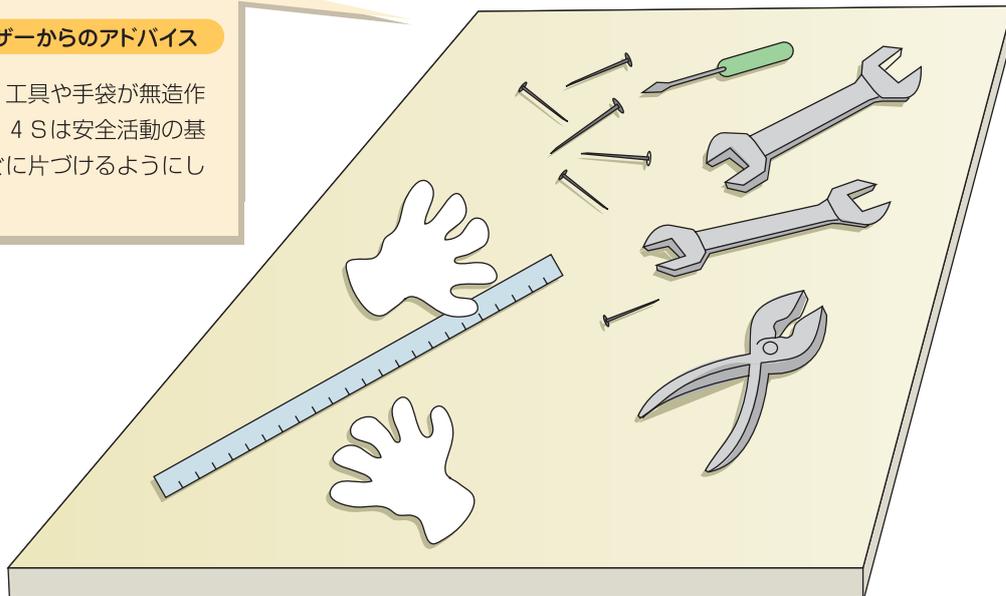
## 4S

### 指摘3

#### 工具や手袋が散らかっている

##### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

作業テーブルの上に、工具や手袋が無造作に散らかっていました。4Sは安全活動の基本です。作業終了後すぐに片づけるようにしてください。



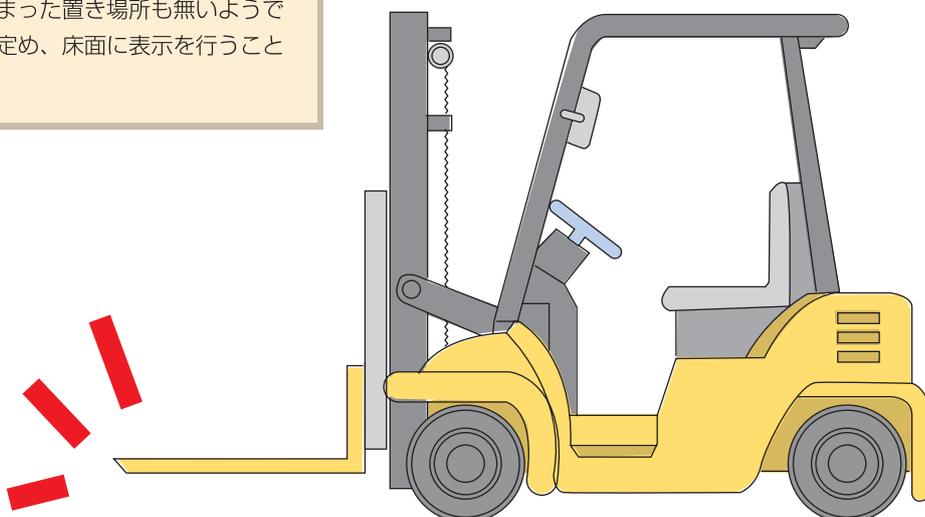
## 転倒

### 指摘4

#### フォークリフトのフォーク先端を浮かせて保管

##### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

フォークリフトのフォーク先端部分が浮いた状態で、保管されていました。フォークは床面にしっかり着地した状態で保管してください。また、決まった置き場所も無いようです。置き場所を定め、床面に表示を行うことを励行します。



### 参考法規

安衛則 第151条の11 (運転位置から離れる場合の措置)

事業者は、車両系荷役運搬機械等の運転者が運転位置から離れるときは、当該運転者に次の措置を講じさせなければならない。

- 一 フォーク、シヨベル等の荷役装置を最低降下位置に置くこと。
- 二 原動機を止め、かつ、停止の状態を保持するためのブレーキを確実にかける等の車両系荷役運搬機械等の逸走を防止する措置を講ずること。
- 三 前項の運転者は、車両系荷役運搬機械等の運転位置から離れるときは、同項各号に掲げる措置を講じなければならない。

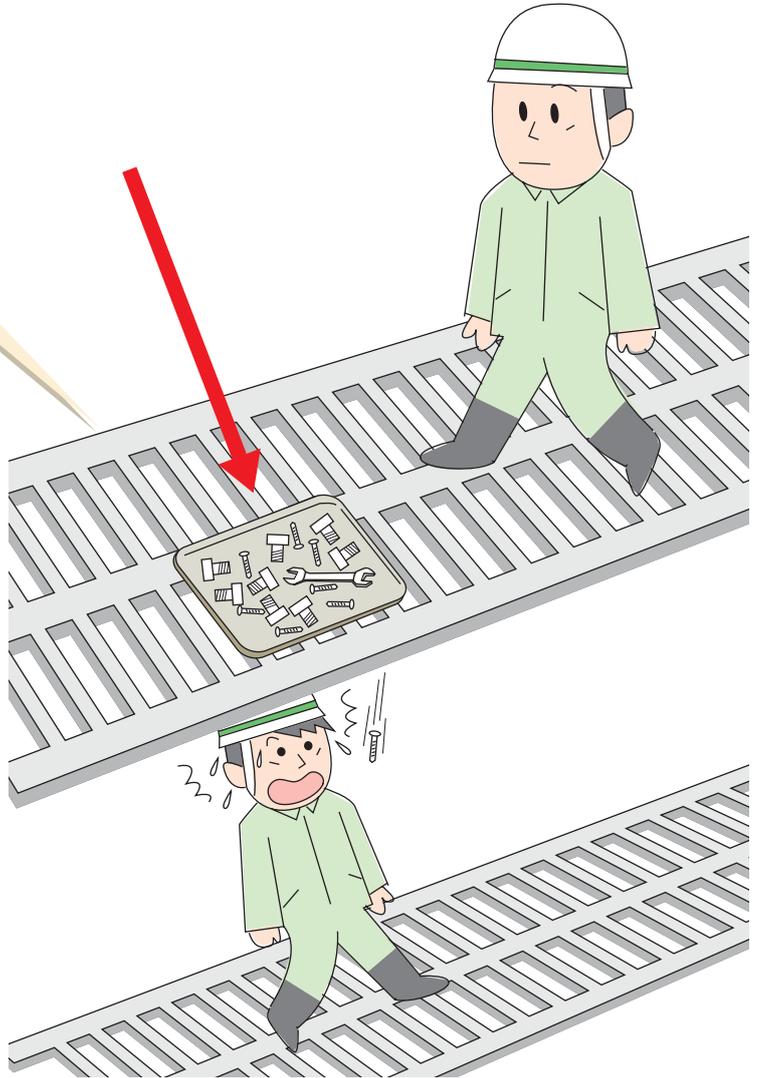
飛 来  
落 下

指摘5

グレーチング通路に工具が

職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

グレーチング通路上の小さな受け皿の上にビス、ボルト、工具等が置かれていました。ふとした振動、不注意などで、階下へ落下し事故を起こす可能性があります。落下や道具の飛散がないよう、大きめの箱や袋の使用を勧めます。



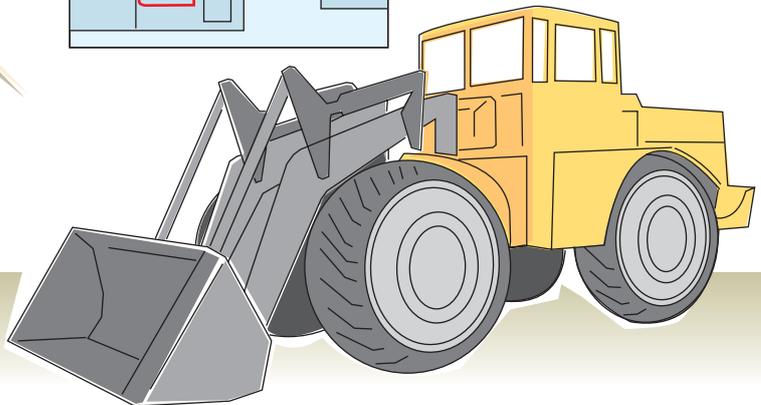
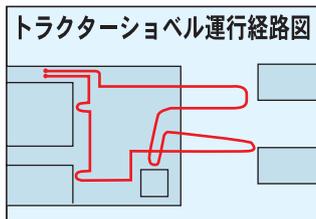
激突され

指摘6

トラクターショベルの作業計画がない

職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

車両系建設機械であるトラクターショベルは、法規定上、作業計画を定め、その計画に従い、作業を行わなければなりません。関係労働者にも周知することが義務付けられています。遵守をお願いします。



参考  
法規

安衛則 第155条 (作業計画)

事業者は、車両系建設機械を用いて作業を行なうときは、あらかじめ、前条の規定による調査により知り得たところに適応する作業計画を定め、かつ、当該作業計画により作業を行わなければならない。

2 前項の作業計画は、次の事項が示されているものでなければならない。

- 一 使用する車両系建設機械の種類及び能力
- 二 車両系建設機械の運行経路
- 三 車両系建設機械による作業の方法

3 事業者は、第一項の作業計画を定めたときは、前項第二号及び第三号の事項について関係労働者に周知させなければならない。

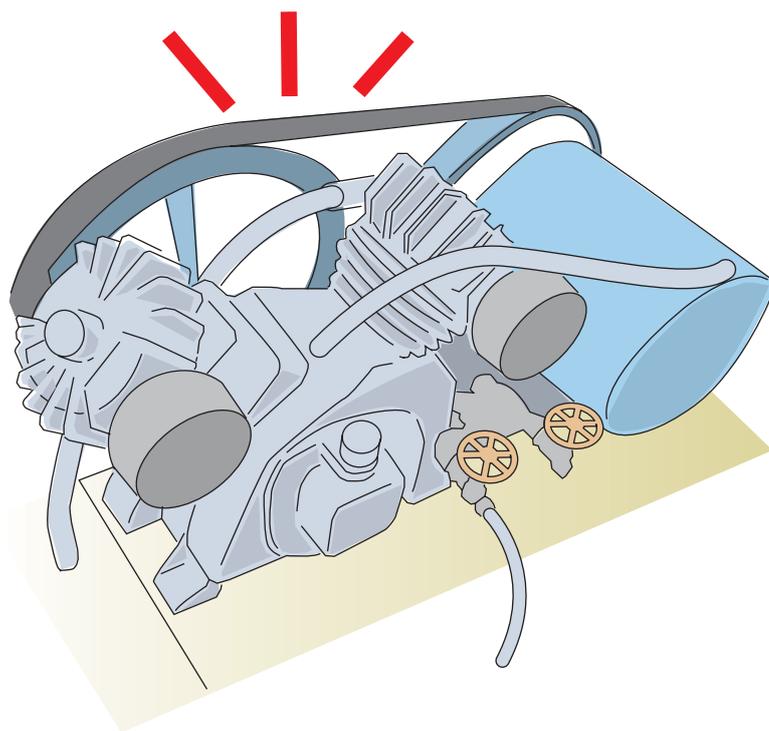
はさまれ  
巻き込まれ

指摘7

### コンプレッサーのベルトが露出

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

圧縮空気供給用のコンプレッサーのベルトが露出し、手指を被災するおそれがあります。ベルトカバーで覆ってください。



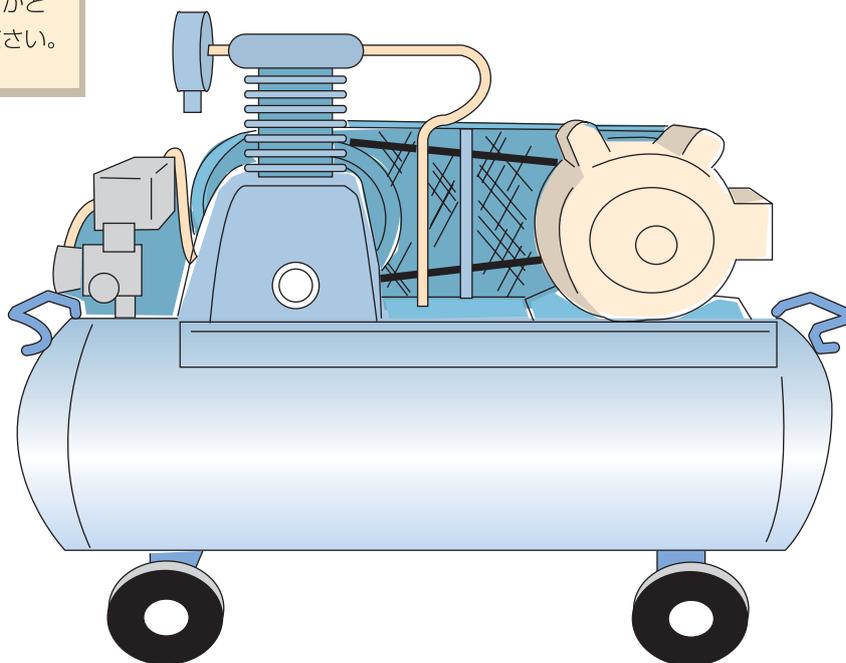
爆発

指摘8

### 第二種圧力容器の確認・点検を

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

コンプレッサー付属のエアタンクは、使用圧力、大きさにより第二種圧力容器に該当し、定期自主点検が必要ですが、そのことに気が付かないことも多いようです。該当するかどうか調べて、必要なら点検を行ってください。



参考  
法規

安衛則 第101条 (原動機、回転軸等による危険の防止)

事業者は、機械の原動機、回転軸、歯車、プーリー、ベルト等の労働者に危険を及ぼすおそれのある部分には、覆い、囲い、スリーブ、踏切橋等を設けなければならない。

2 事業者は、回転軸、歯車、プーリー、フライホイール等に附属する止め具については、埋頭型のものを使用し、又は覆いを設けなければならない。

3 事業者は、ベルトの継目には、突出した止め具を使用してはならない。

4 事業者は、第一項の踏切橋には、高さが九十センチメートル以上の手すりを設けなければならない。

5 労働者は、踏切橋の設備があるときは、踏切橋を使用しなければならない。

# 6

## 事務所 倉庫 ほか

事務所や倉庫といった場所でも、公務災害を招く「物」や「スポット」は多数存在し、不安全な行動に起因する事故も発生します。

ここでは、事務所や倉庫のほか前項までに取り上げられていない場所で、職場環境改善アドバイザーが指摘した事項をいくつか紹介します。

全65件のアドバイスの中で、最も多かったのが「4S」、いわゆる整理・整頓・清掃・清潔に関わる事項でした。次いで「有害物等との接触」「激突」「崩壊・倒壊」「火災」といった災害を想定した事項が多く指摘されています。



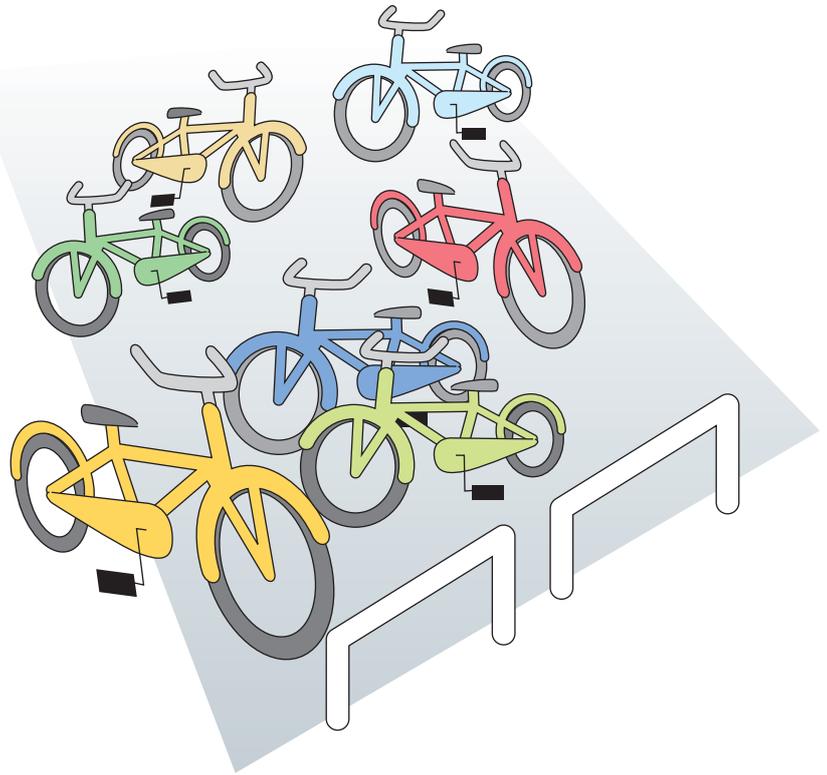
指摘1

4S

### 駐輪場の整理整頓

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

駐輪スペースに、乱雑に自転車が置かれています。前輪の位置を表示するなどして、整然と駐輪できるようにしてください。



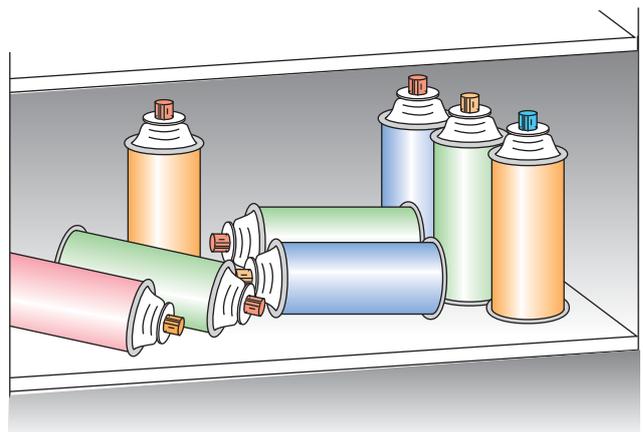
指摘2

4S

### ボンベ類が棚に散らかってる

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

棚にボンベ類が散らかっています。必要のないものは廃棄し、分かりやすいよう整頓をしてください。



### 容器に内容物の表示が無い

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

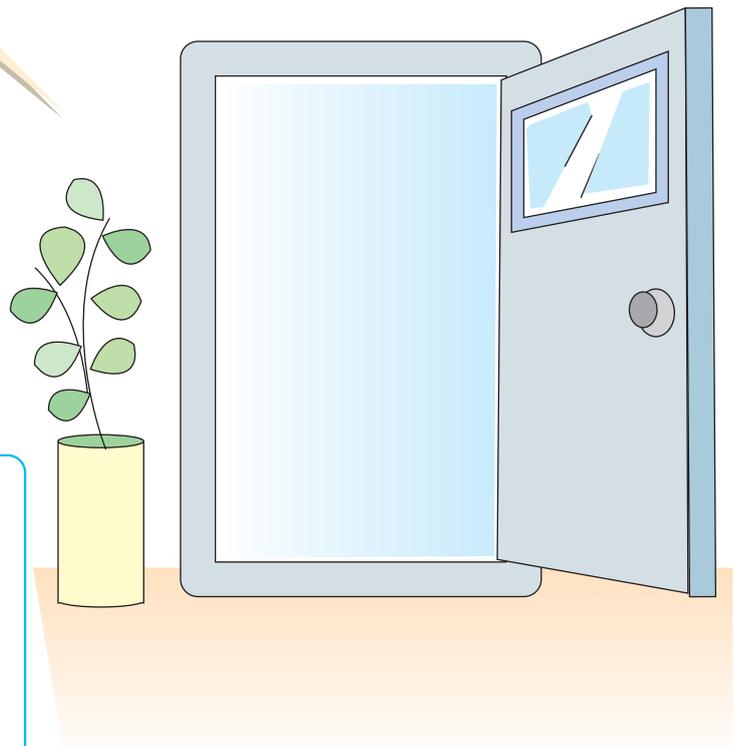
ペットボトル内にエンジンオイル等を入れて使っていますが、内容物の表示がされていません。誤使用による事故を防ぐためにも、きちんと表示をしてください。



### 開閉式ドアに激突の恐れがある

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

開閉式ドアを開いたとき、激突のおそれがあります。ドアが開く側では危険領域を床面に表示し、反対側ではゆっくりドアを開けるよう注意表記をするとよいでしょう。



### 参考にしたいコラム

#### 整頓の3定

以下の3定を心掛け整頓してください。

- 1 定位「定められた場所に」
- 2 定品「定められたモノを」
- 3 定量「定められた量だけ」  
場所、モノ、量を表示すると整頓しやすくなります。  
必要に応じ次の3定も有効です。
- 4 定名「誰が担当」
- 5 定日「いつ実施」
- 6 定法「手順を定める」

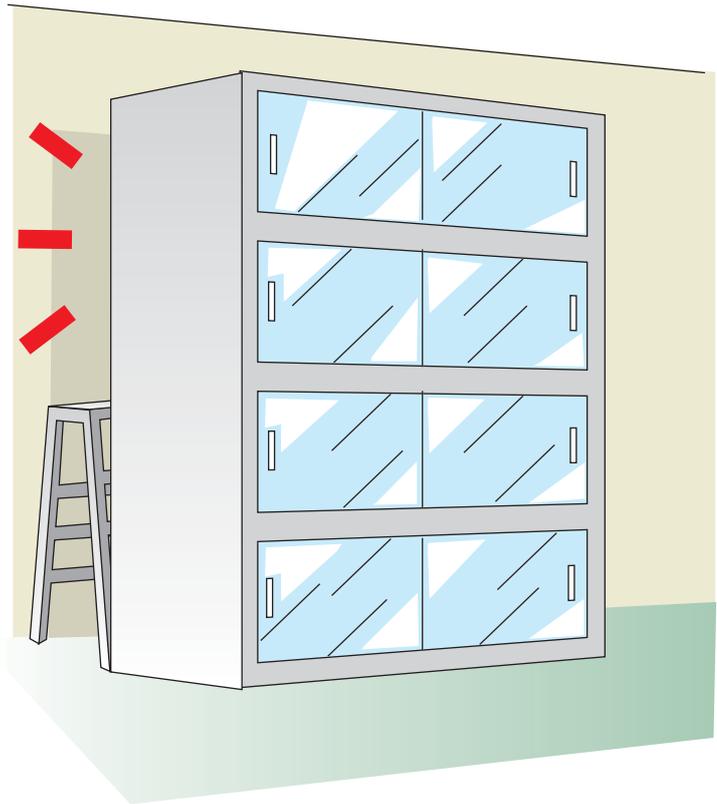
崩壊  
倒壊

指摘5

### 棚が固定されていない

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

ガラス戸のある棚が壁に固定されていません。地震が起こった場合、棚の下敷きになったり、ガラスで負傷したりする可能性があります。棚をしっかり壁に固定し、飛散防止フィルムをガラスに貼るよう to してください。



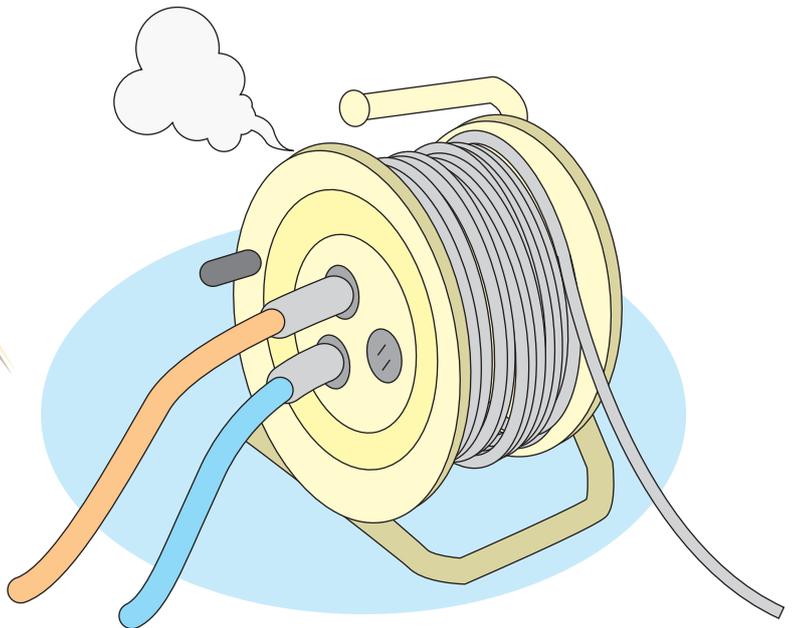
火災

指摘6

### コードリールを巻いたまま使用

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

コードリールを巻いたまま使用すると、放熱しにくくなるため、火災の危険性があります。コードは引き出して使用してください。



### 参考にしたコラム

#### 安全教育が目指すところ～守・破・離の教え

安全教育が目指すところは、安全を最重要視する態度を養い、安全を確保するために必要なことがらを自分で考えそれを実行できる人材を育てることである。

それは、守・破・離の教えの道筋になぞられる。

「守」・・・師に教えられたこと安全を正しく守りつつ修行し、それをしっかりと身につけることをいう。学ぶ（まねる）。

「破」・・・師に教えられしっかり身につけたことを自らの特性に合うように修行し、自らの境地を見つけることをいう。殻を破る。

「離」・・・自己の成果を集大成し、何物にもとらわれない自分なりの独自の新しい境地に至ることをいう。

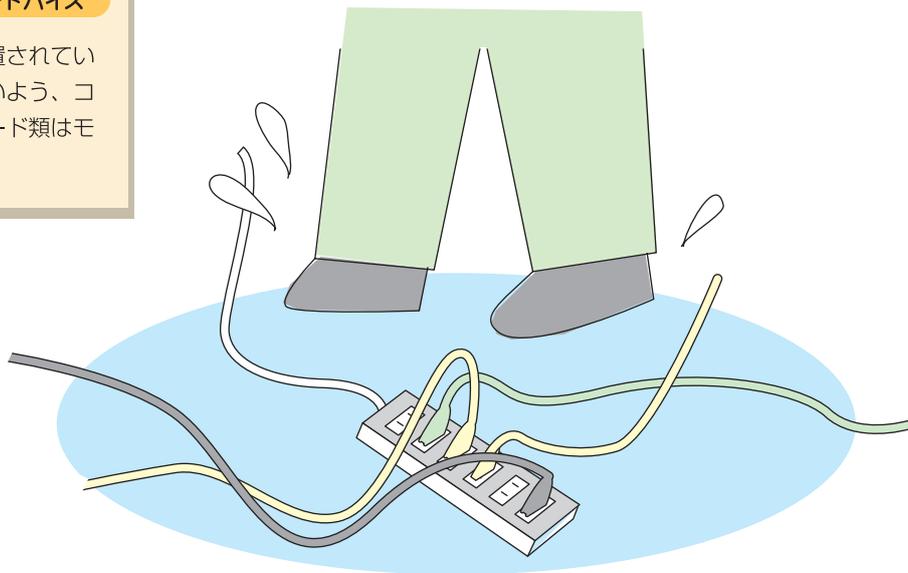
## 転倒

指摘7

### 通路にコンセントが放置

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

事務所内の通路にコンセントが放置されていました。つまずき事故が起こらないよう、コンセントの設置場所を工夫し、コード類はモールなどで処理してください。



## 飛来 落下

指摘8

### ロッカーの上に不要物がある

#### 職場環境改善アドバイザーからのアドバイス

ロッカーの上に不要物があります。地震が起こると、不要物が飛んできたり、落下したりすることで、災害に遭う可能性があります。原則、ロッカーの上には物を置かないようにしましょう。



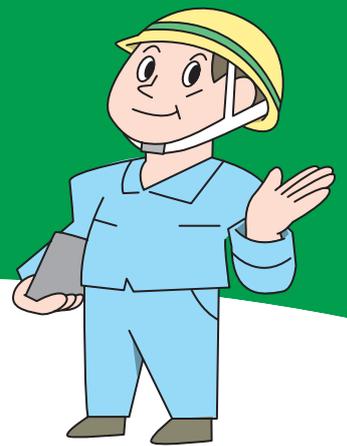
参考  
法規

安衛則 第619条 (清掃等の実施)

事業者は、次の各号に掲げる措置を講じなければならない。

一 日常行う清掃のほか、大掃除を、6月以内ごとに1回、定期的に、統一的に行うこと。(以下略)

第**3**章



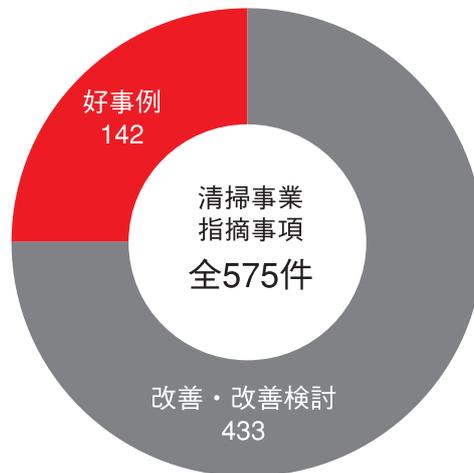
職場環境改善アドバイザーが評価する  
地方公共団体の取組み事例



### 第3章

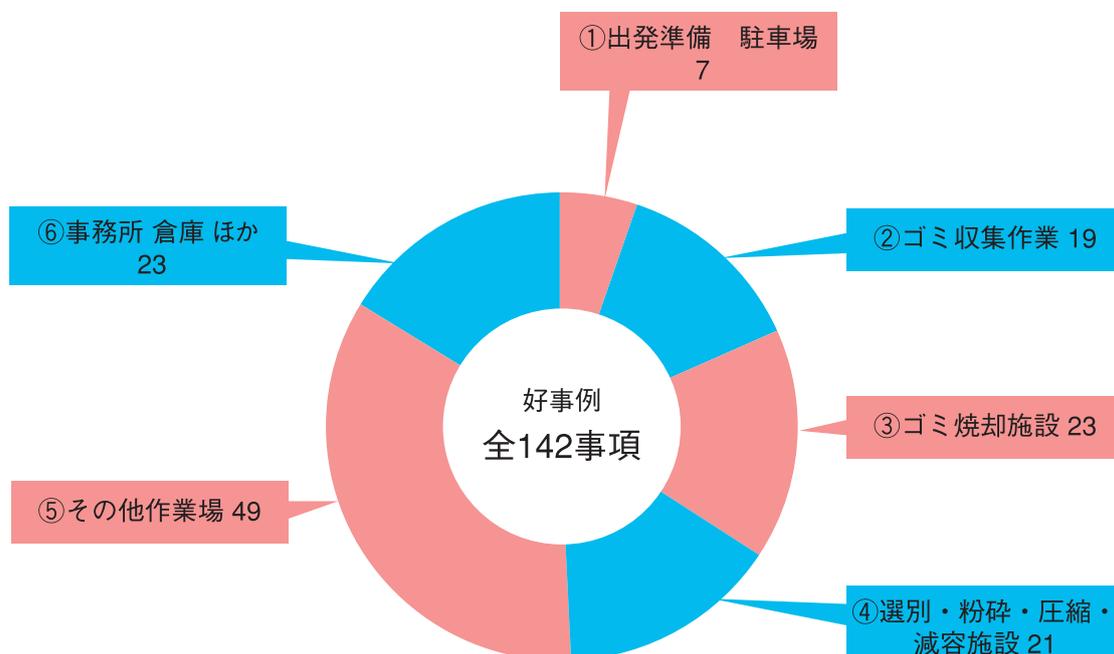
## 職場環境改善アドバイザーが評価する地方公共団体の取組み事例

平成20年度から23年度まで、「職場環境改善アドバイザー」が、職場診断を行った清掃事業所21事業所575件の指摘事項のうち、法律を遵守している、安全衛生に配慮している、工夫しているなどの評価を受けたいわゆる「好事例」は142件あった。



この章では、この好事例142件の中から代表的なものをいくつか選定し、六つの「工程・場所別」に紹介していく。

下表は、142件の好事例について「工程・場所別」の内訳である。第2章と同様、「作業」より「作業環境」の診断が多いことから、全般的に施設を伴う「工程・場所」に好事例が多く集まる傾向がある。



# 1

## 出発準備 駐車場

「出発準備 駐車場」で職場環境改善アドバイザーが評価した事例を紹介します。

職場環境改善アドバイザーはココを評価！

### 作業開始前のラジオ体操

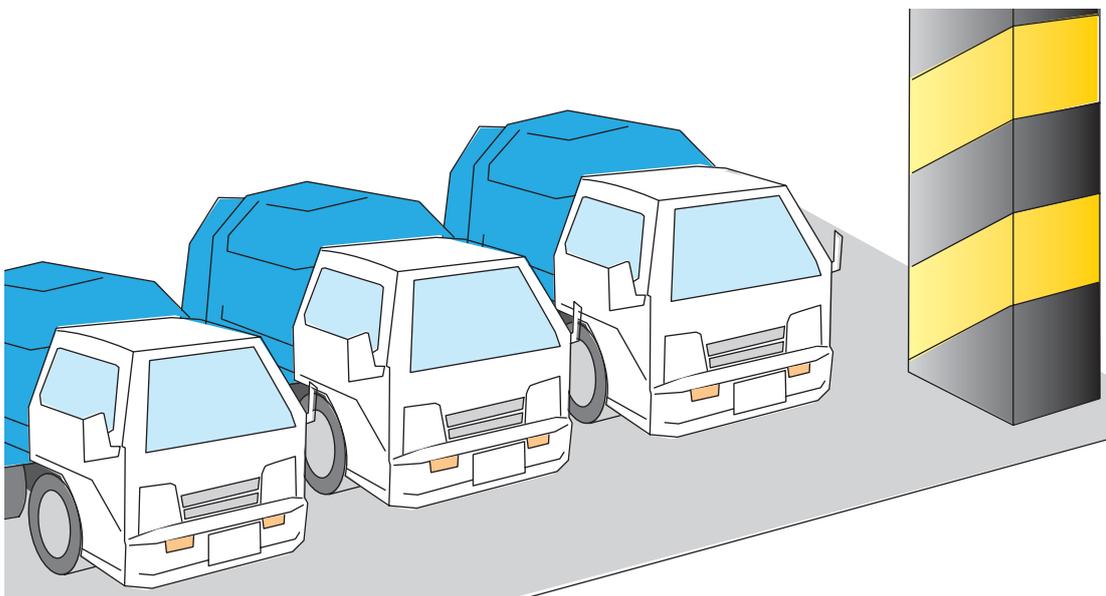
朝のうちは身体がまだ固いため、体操によって筋肉をほぐし、反射神経を高めます。腰痛と公務災害の防止に有効な対策と考えられます。



職場環境改善アドバイザーはココを評価！

### 駐車場の柱をトラ色塗装

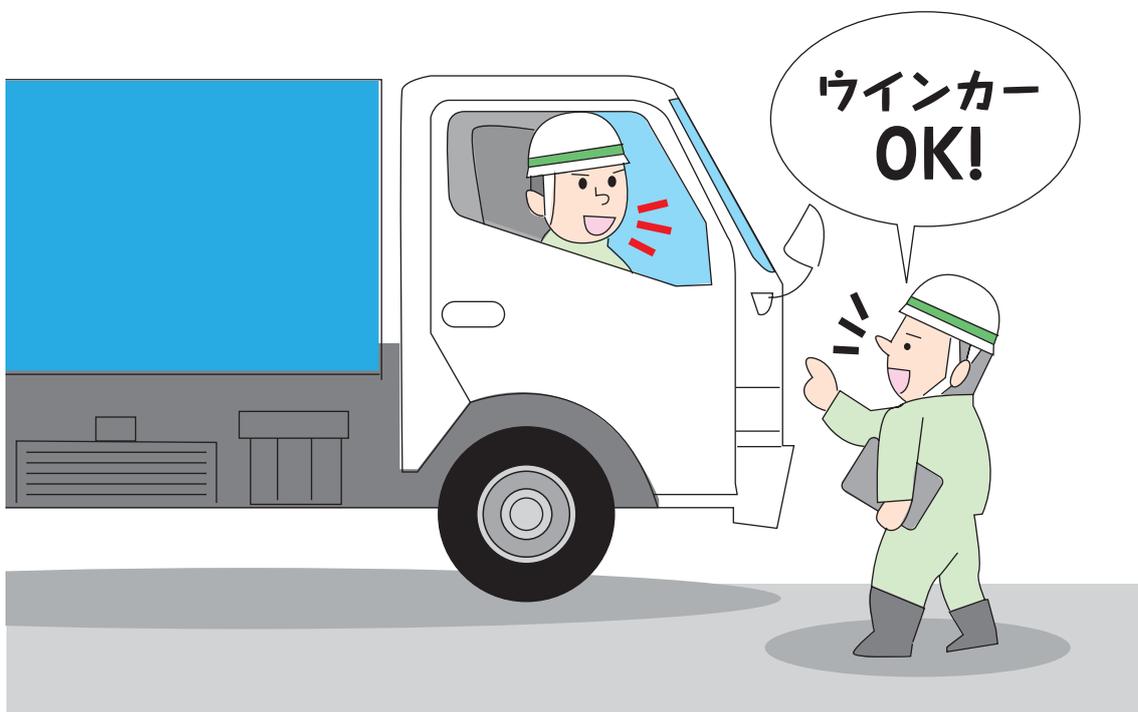
駐車場にある柱をトラ色で塗装し、車が柱と激突しないよう注意喚起を行っています。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 複数で、確実な合図を伴う作業前点検

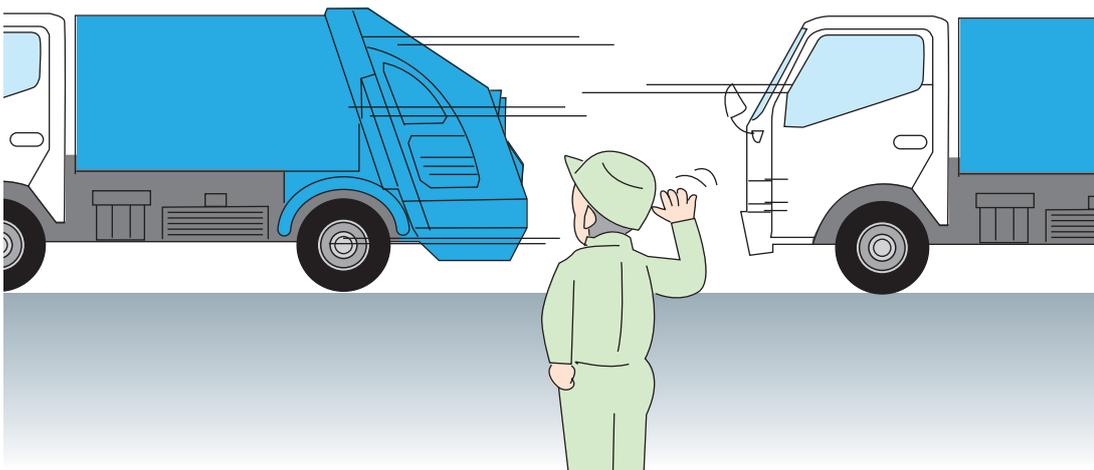
運転者、点検者が、声を出し確実な合図を伴って作業前点検を行っていました。安全運行、安全作業への意識の高さを感じます。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 整然たるごみ収集車の出庫と所長の見送り

ごみ収集車を一台ずつ整然と出庫させており、収集車同士の接触事故の防止対策が図られています。また、この出庫にはいつも所長が立ち会い、出口で手を振って送り出しています。素晴らしいことです。



## 2

## ごみ収集作業

「ごみ収集作業」で職場環境改善アドバイザーが評価した事例を紹介します。

職場環境改善アドバイザーはココを評価！

### カメラでごみ投入状況の様子を運転者が確認できる

ごみ回収車に車両後部のごみ投入作業状況がわかるカメラが付いて、運転席のモニターで確認できるようになっていました。作業の状況把握の面からも、作業効率の面からも、また、不用意に車を発進させないなど安全の面からも、良い事例だと思います。



職場環境改善アドバイザーはココを評価！

### 積み込み作業で声を掛けあう

ホッパーに一つひとつごみを入れる作業において、積み込みボタンを押す人と、ごみを入れる人がしっかりと声を掛け合いながら仕事を進めています。回転板に巻き込まれると、重大災害となることを意識し、慎重に作業を進めており評価できます。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 住民に直接ごみを投入させない

ごみを持ってきた住民に対し、直接ホッパーに投入させず、丁寧な態度でごみを受け取っていました。住民の安全の確保のためにも、ホッパーへの投入は作業員が行っています。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 素早く、手際良く飛散したごみを処理している

積み込み時に飛散したごみを、箒とちりとりを使って素早く、手際良く処理をしています。足元の安全と公衆衛生の確保が図られ、仕事ぶりから安全に欠かせない「作業員の集中力」が感じられました。



# 3

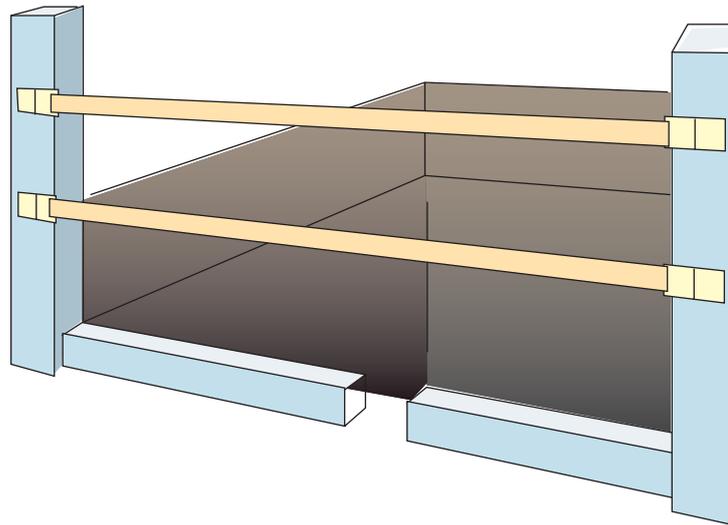
## ごみ焼却施設

「ごみ焼却施設」で職場環境改善アドバイザーが評価した事例を紹介します。

職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 不使用時のピットに囲いを設置

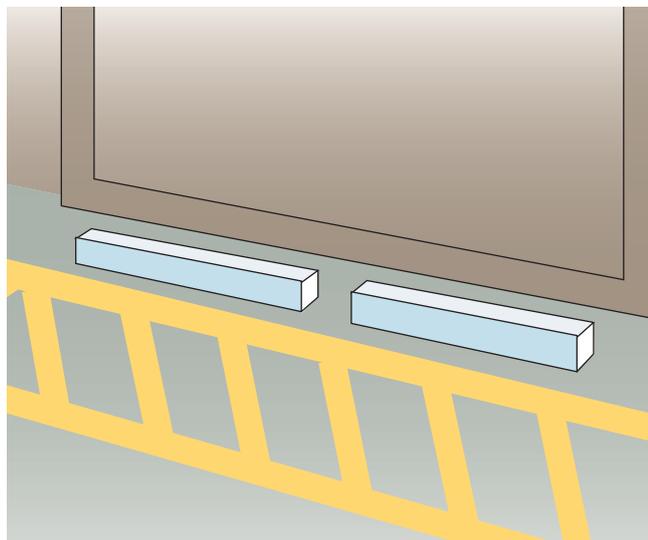
ピットを使用していない時は、バーで囲いを設置しており、転落事故を防止しています。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 扉自動感知装置が設置されている

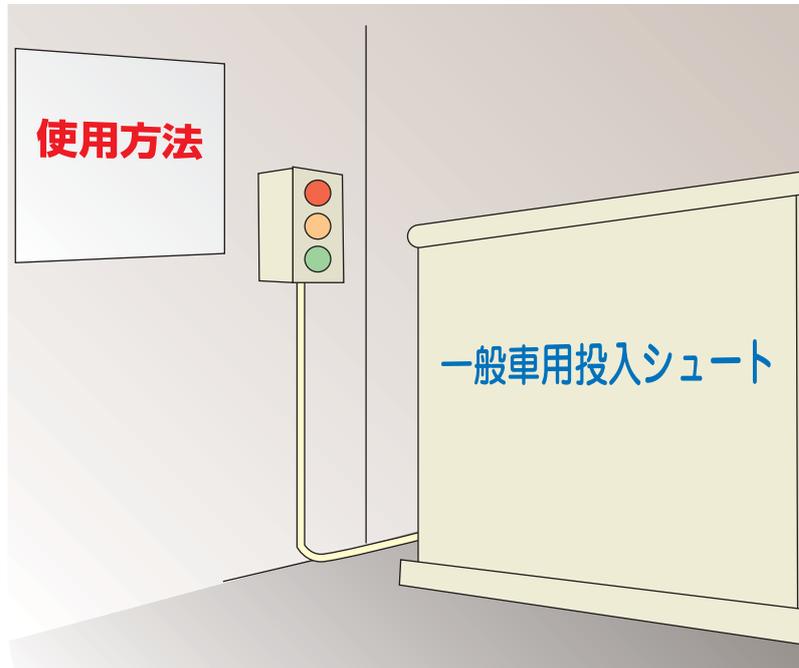
車等の金属を感知してピットの扉が自動的に開く設備が導入されています。車止めからピットまでの床面は黄色い塗料で縞模様が描かれ、危険区域であることを喚起しています。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 住民用のごみ投入シュートを設置

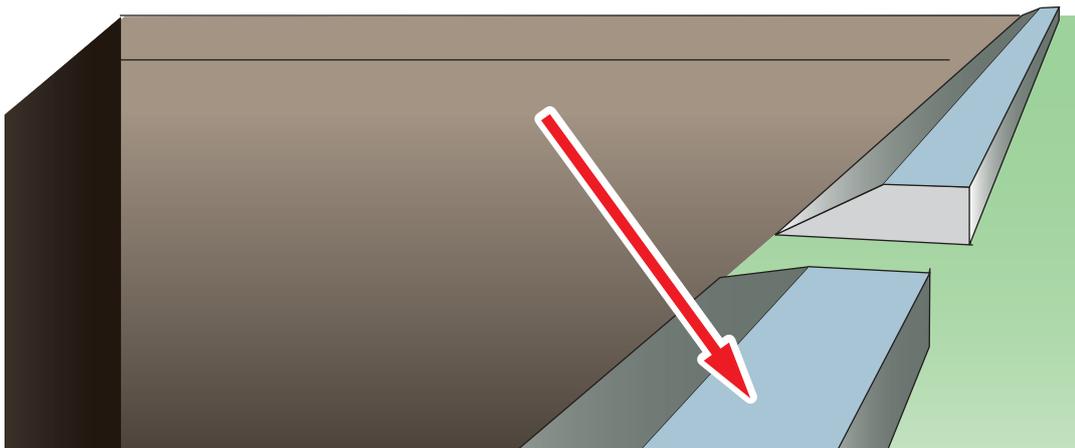
住民が大きな開口部のあるピットに転落しないよう、住民用のごみ投入シュートが別途設置されています。投入口の近くには、使用方法がきちんと表示されています。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### ピットの前のステップに滑り止めのコーティング

ピット前のステップに滑り止めのコーティングをして、縁からの転落を防止しています。



# 4

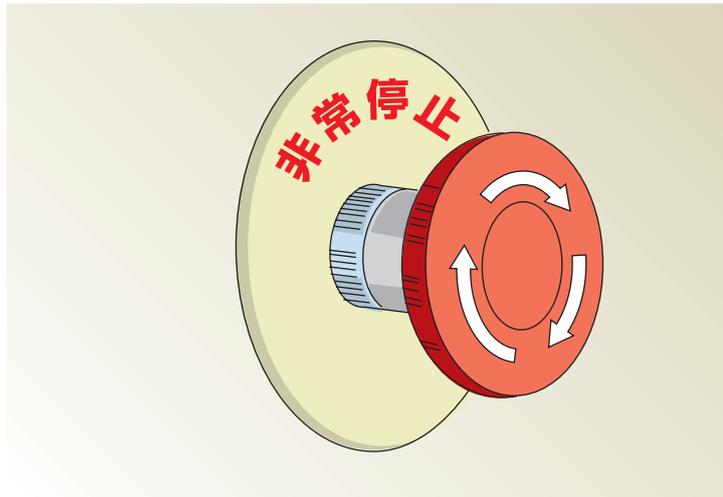
## 選別・粉碎・圧縮・減容施設

「選別・粉碎・圧縮・減容施設」で職場環境改善アドバイザーが評価した事例を紹介します。

職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 破砕機の非常停止用ボタンがキノコ型

破砕機の非常停止ボタンが「埋頭型」ではなく「キノコ型」になっています。非常時にとっさに押すことができるので良い事例です。(法令準拠事項)



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 破砕機の出入りに「立ち入り禁止」の大きな表示

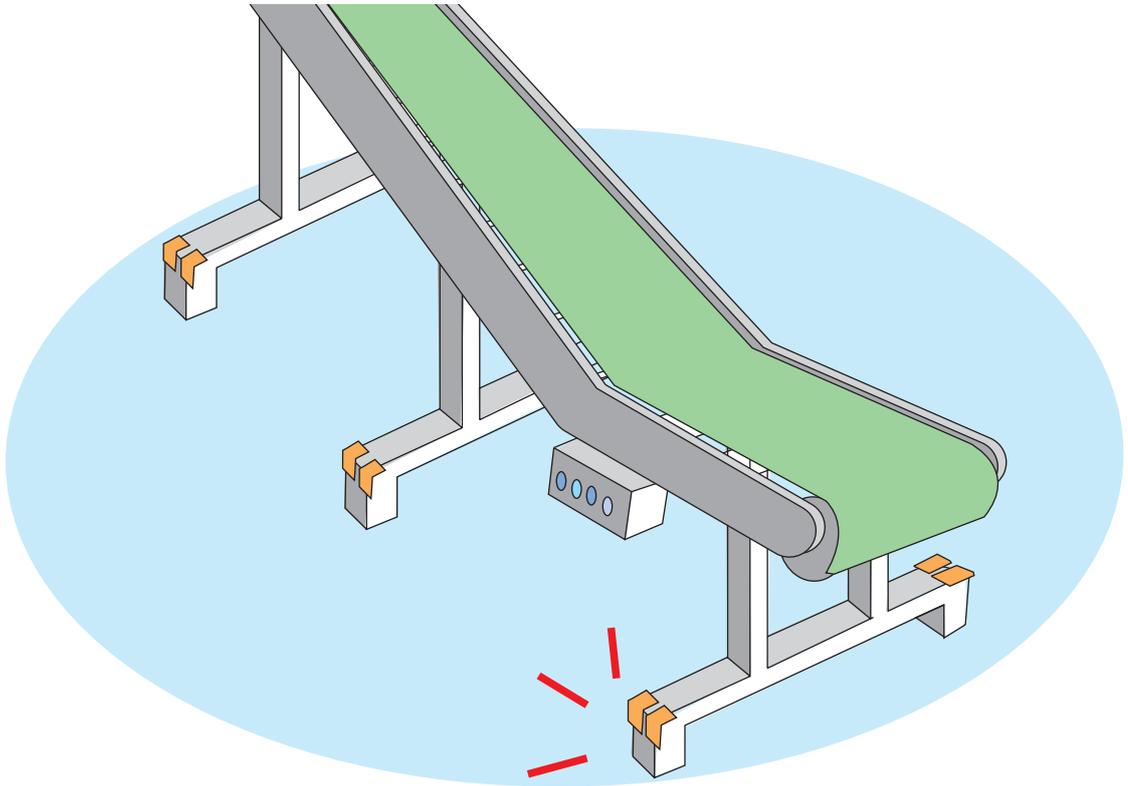
破砕機の建物の入口に「立ち入り禁止」の大きな表示があります。危険な場所に部外者を近づけないため必要な措置だと思います。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### ベルトコンベアの脚の角をクッションで覆う

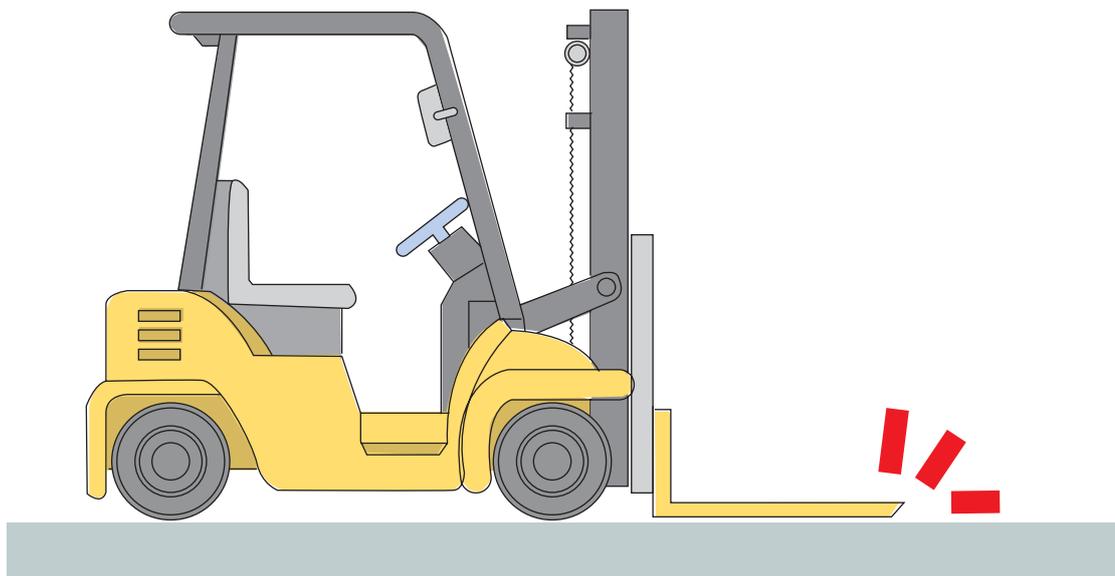
ベルトコンベアの脚に危険な角があるため、その部分を柔らかなクッション材で覆っています。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### フォークリフトのフォークが床にくっついて保管

フォークリフトのフォークが床にぴったりとくっついて保管されています。フォークリフトのつまずきによる災害防止になります。(法令準拠事項)



# 5

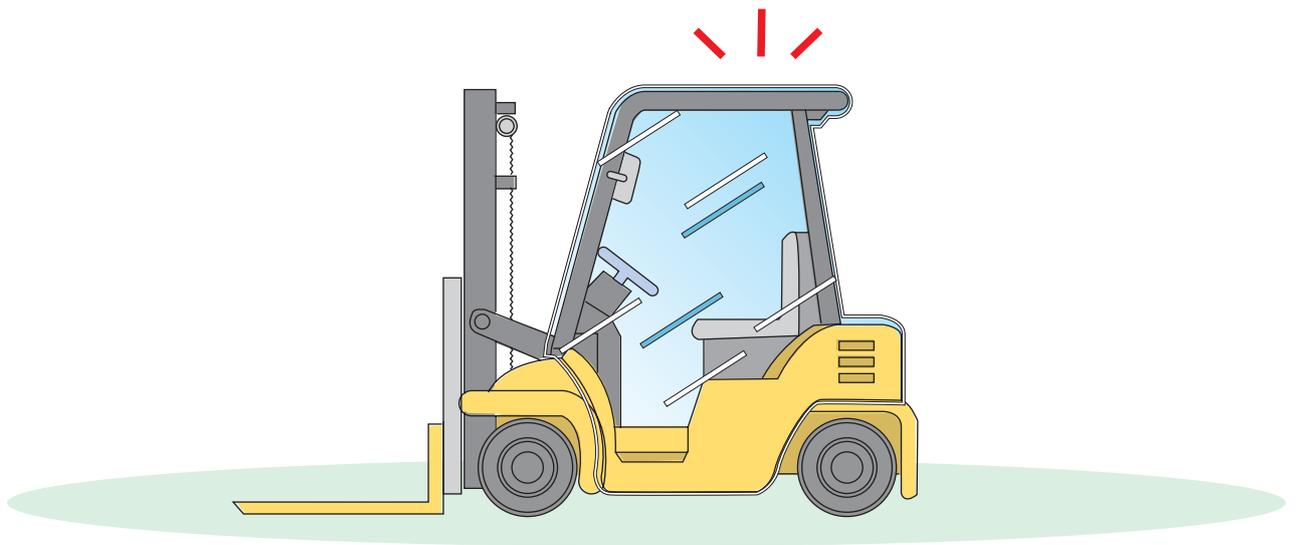
## その他作業場

「その他作業場」で職場環境改善アドバイザーが評価した事例を紹介します。

職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### フォークリフトをアクリルで防寒対策

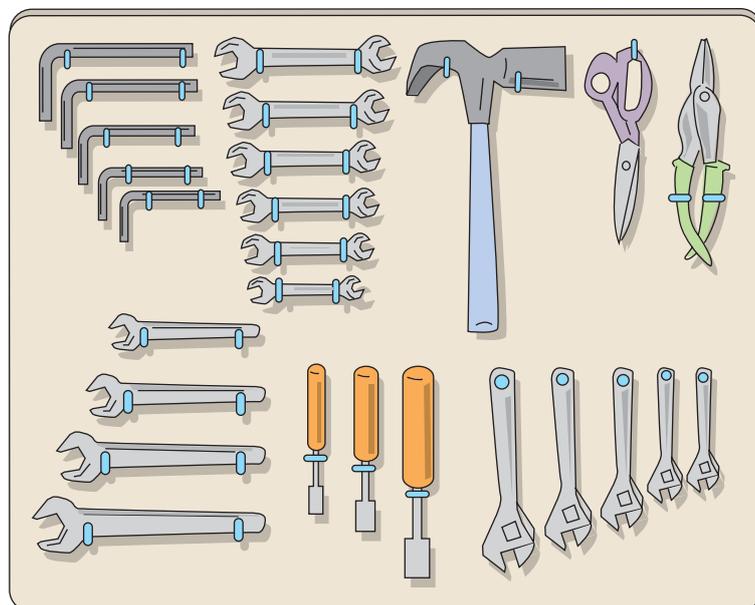
フォークリフトを、透明なアクリル板で覆い、防寒対策がとられています。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### ボードを使って工具を管理

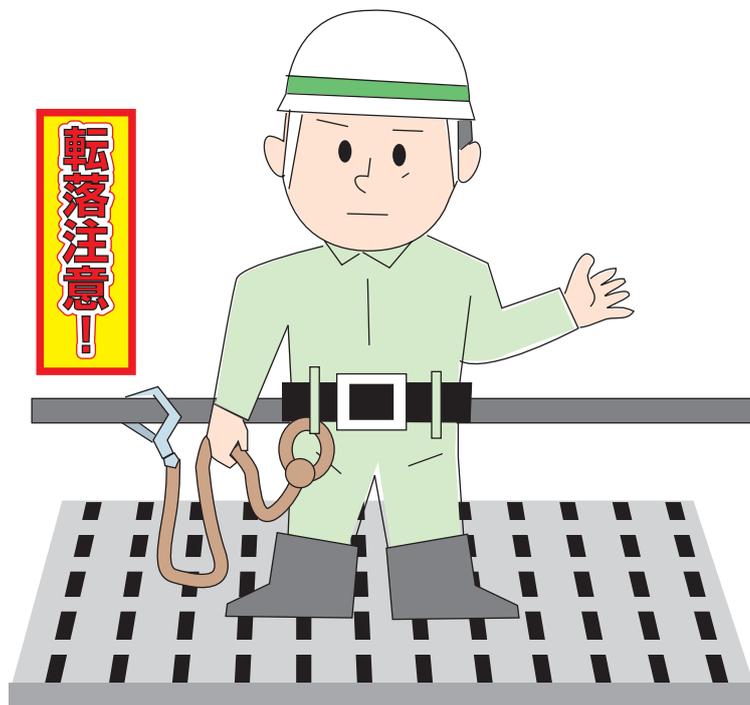
ボードに工具をぶら下げて整理・管理しています。使用中のものも一目でわかり、工具の紛失防止や安全対策にも有効です。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 墜落・転落の危険のある場所に安全帯を設置

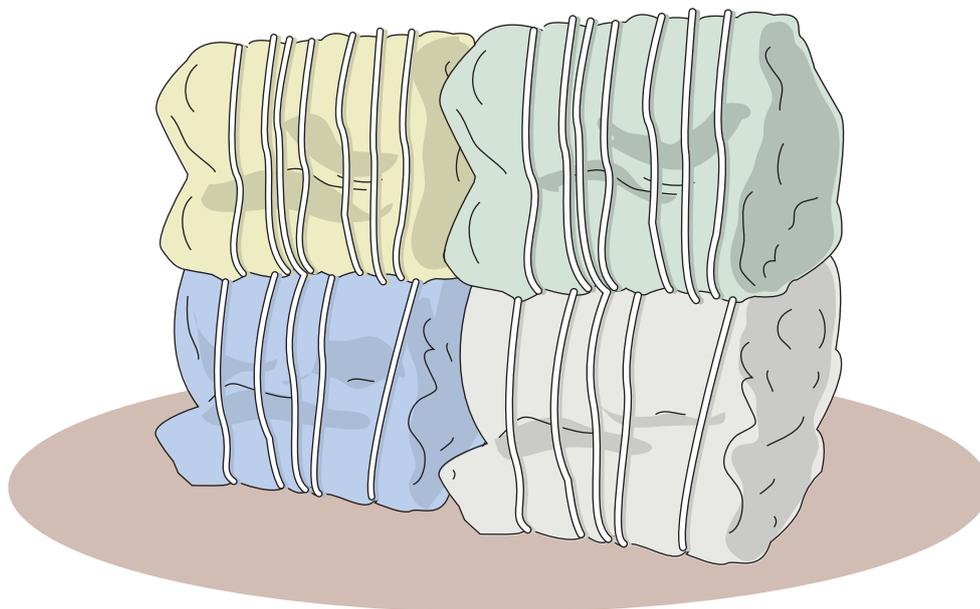
墜落・転落の危険のある場所に安全帯を備え付け、確実な使用と管理を行っています。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 梱包されたごみの2段積みが徹底されている

ストックヤードにおいて、梱包されたごみの倒壊がないよう、2段までしか積まないとルール化し、それが徹底されています。



# 6

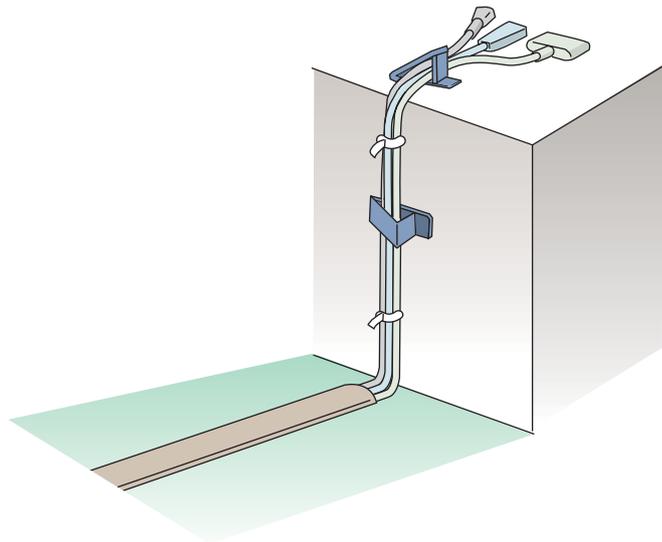
## 事務所 倉庫 ほか

「事務所 倉庫 ほか」で職場環境改善アドバイザーが評価した事例を紹介します。

職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### OA等の配線がまとめられている

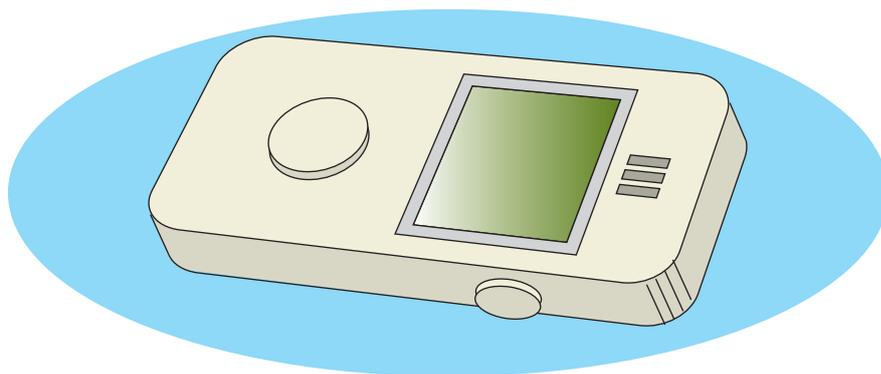
OA等の配線はきれいにまとめられ、つまずき防止策がとられています。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### アルコールチェッカーが設置

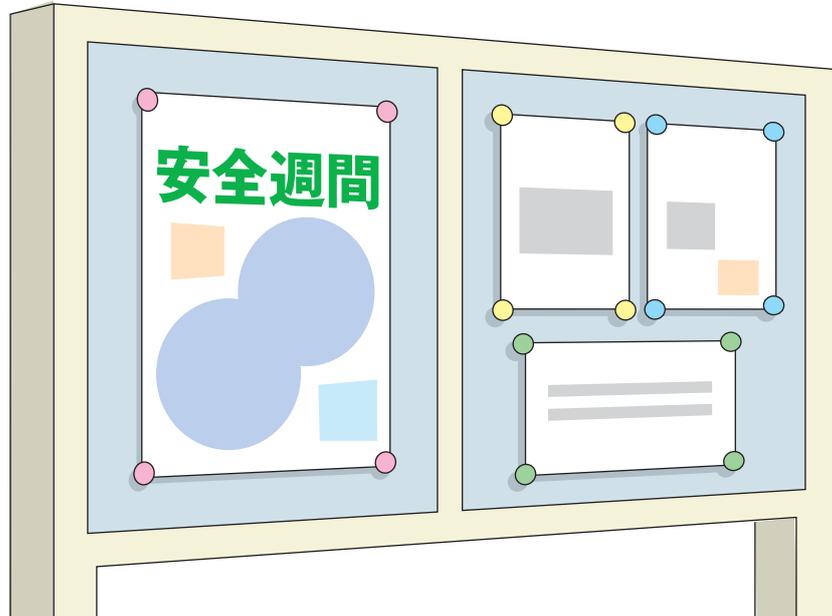
アルコールチェッカーが設置され、作業員のチェックに使用されています。前日遅くまで飲酒していた場合、本人が気付かず翌日までアルコールが残ることもあるため、良い取組みだと思います。



職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 掲示板に年間活動計画が表示されている

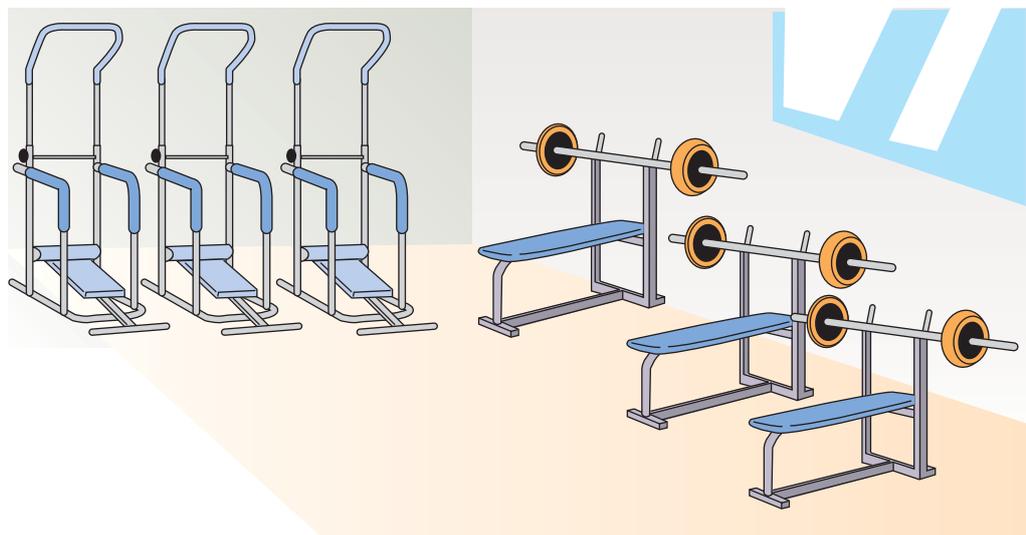
掲示板に年間活動計画が表示されています。また、安全ポスターや安全衛生の啓発文書が掲示されています。



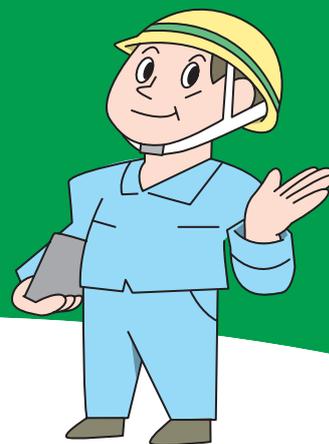
職場環境改善アドバイザーはココを評価!

### 健康保持増進対策の環境整備がなされている

作業後に汗を流す健康保持増進施設の整備が行われています。清潔に使いやすく保たれています。



【参考】



## 工程・場所別公務災害事例

ここで紹介する災害事例は、平成22年度に地方公務員安全衛生推進協会が行った「リスクアセスメント実施事例調査」において、各団体から寄せられた事例を工程・場所別にまとめたものです。  
第2章・第3章と併せて、公務災害防止の参考にしてください。



## 2

## ごみ収集作業 災害事例

「① 出発準備 駐車場」の災害事例については、「⑥ 事務所 倉庫 ほか」(P62)に包括されています。

### 動作の反動・無理な動作

- 可燃物収集作業中、車道と歩道との段差で右足首をひねり、負傷した。
- 収集車から降車する際、平らな所に降りたつもりだったが、前日の雨で地盤の緩んだ所に降りてしまい、バランスを崩し、左足をひねって痛めた。
- 雨の日の収集作業中、マンホールの上で長靴が滑り、左足を捻挫した。
- 収集車より降りる際、急いでいたため、無理な体勢になり、足首を捻挫した。
- 振り向いた際、両手に持ったごみ袋により、遠心力が増幅し、膝をひねった。
- 可燃ごみ収集作業中、新聞紙の束を投入する際、紐に指が引っ掛かり捻挫した。
- 両手にごみを持ち、収集車にごみを投入したところ、前日から降り続いていた雨でごみが水を含み重くなっていたため、右手首が逆関節の方向にねじられ負傷した。
- 収集先で腰をかがめて作業を行っていたところ、腰に激痛が走り、動けなくなった。
- ごみ集積所に向かう際、立ち木を避けようと首と身体をねじり、頸椎を捻挫した。
- BOXタイプのごみ集積場からごみを送り出し作業中、ごみを掴みながら、前屈姿勢で左側に体をねじりながら、上体を起こしたときに腰に負担が掛かり負傷した。
- 可燃ごみの袋をガードレール越しに持ち上げようとしたところ、重かったので、踏ん張った足が滑り、バランスを崩した際に、腰部を捻挫した。

### 飛来・落下

- 巻き込み時にはじかれて飛んできた碁盤が顔面に当たり、歯が折れて出血した。
- 指定袋に入ったポリタンクを積み込んだ後、違うごみ袋を積み込もうとしたところ、先に積み込んだポリタンクが回転パネルに噛んでのはじけ飛んできて指に当たった。
- ごみ袋を投入し、回転板を回したとき、回転板の隙間から液体が噴出し、顔面にかかり、目を負傷した。
- 不燃物の収集作業中、収集車にごみを投入して、回転板を回したところ、突然大きな音とともに、火が飛んできて顔面に浴びてしまった。
- 不燃物ごみ収集中、収集車の回転板を回したときに、傘の柄が飛散し顔に当たった。
- 古紙を2人で収集中、相手方作業員が投げ渡した雑誌1束(約10キログラム)に右手がぶつかり、骨折した。
- ごみ収集作業中、手が滑り、重いごみを左足指の上に落とし、負傷した。
- ごみ収集作業中、ごみステーションの蓋が落下して頭部に当たった。

## 転倒

- 収集車両から降車の際、凍結路面で足元を滑らせ転倒した。
- 収集作業中に縁石でつまずき転倒し、左肘を強打した。
- 廃棄物を収集車に積み込む際、廃棄物が重く、後ろにのけぞり、転倒した。
- 資源ごみ収集作業中、荷台から降りようとした際に、荷台ステップに足を掛けたが、滑り転倒し、負傷した。
- ごみ収集作業後、車両に戻ろうとしたところ、道路のくぼみに右足を取られ骨折した。
- 走って移動中、側溝の蓋でつまずき、骨折した。
- ごみを収集する際に、階段につまずき、転倒し、手を骨折した。
- 縞鋼板の上で作業していたところ、取り外し用の把手につまずき転倒し、足首を骨折した。
- 車の誘導をしていたところ、右足がグレーチングの継ぎ目に引っ掛かり転倒した。
- 両手にごみ袋を持って収集車に向かっていた時、U字溝の蓋の段差につまずき、転倒した。

## 切れ・擦れ

- 可燃物ごみ袋を握ったところ、混在していたガラス破片で手を突き刺した。
- 不燃物収集時、アルミサッシのフレームに残っていたガラス片が腕に刺さった。
- 不燃ごみの収集時、袋に入っていた割れた蛍光灯により指を切った。
- びん・かんの収集作業中、一升びんを持ち上げた際に、びんの底が割れており、割れた所が大腿に当たり、負傷した。
- ごみの収集作業中、袋を掴んだところ、ごみに混入されていた注射針が刺さった。
- 収集車がいっぱいになったので、ごみを抑えながら、回転させたところ、袋の中に入っていた串が押し出され、押さえていた親指の付け根に刺さった。
- 普通ごみ収集時、ダンボールの間にはさまっていたパンナイフによって手を切った。
- 不法投棄されていた冷蔵庫を回収しようとしたとき、バランスを崩し、持っていた冷蔵庫が横に流れ、冷蔵庫内の角で手首を切った。

## はさまれ・巻き込まれ

- 収集車の投入口にごみを入れた際に腕が巻き込まれ、圧縮板にはさまってしまった。
- ホッパー内のペットボトルを取り出そうと、テールゲートに腕をはさまれた。
- 収集作業中、通行人から不意に声を掛けられたために、注意をそがれ、ごみ収集車のごみ投入口内回転板に右腕上腕部を巻き込まれ、負傷した。
- パッカー車にスチール製のラックを投入し、圧縮されたラックに指をはさまれた。
- 清掃車に乗る際、折りたたみである助手席の椅子を下ろそうと椅子上部を下へ押したところ、手が滑って折りたたみ椅子と支柱部分に指をはさまれた。
- 助手が収集車に乗り込もうとしたところ、運転手が収集車を発進させた為、助手が収集車のドアに足をはさんで負傷した。

## 激突

- 小屋式ごみ集積所の上部に設置してあるドアの留め金に頭部をぶつけた。
- ごみの積み込みが終わり車に戻る際、収集車後方のあおりに頭部を強打し負傷した。
- 集積場横に設置してある掲示板に頭部をぶつけた。
- 収集作業中に電柱配電盤に頭部をぶつけた。
- 収集中にごみ箱の蓋に眼をぶつけた。
- 収集作業時に車に乗り込もうと、ドアに肘を強打し、挫傷した。
- 可燃ごみ収集直後、収集車のバックモニターカメラに頭部をぶつけて裂傷した。
- ごみ収集車に乗り込む際、ステップに足を掛けたが滑り、膝を打撲した。
- ごみ収集車への積み込み作業中、道路標識に気付かず接触し、眼を強打した。

## 墜落・転落

- 空き瓶の収集中、平ボディ車の荷台から転落し、肩と股関節部を打撲した。
- ごみ収集作業中、不安定な溝蓋の上に足を乗せバランスを崩し、溝へ転落した。
- ペットボトル回収時、トラック車の荷台から足を滑らせ転落し、肩を負傷した。
- 不燃物・粗大ごみの収集後、降車の際、足を滑らせて転落し、足を骨折した。
- 可燃ごみの収集作業後、収集車に乗車中、バランスを崩して転落し、手を負傷した。
- 収集作業中に階段を踏み外し、転落した。
- 収集作業の移動中、次の集積所までの距離が短いため、乗車しないで車に取り付き、発進したところ、雨水枡の段差を越える際に転落した。

## 交通事故（道路）

- 資源ごみの収集作業中、見通しの悪いカーブで、他の車を避けた際に路外へ転落した。
- 一時停止を怠り左から交差点に侵入したダンプカーの右側面に衝突し、負傷した。
- T字路交差点で一時停止していたところ、小型貨物自動車に追突された。
- 凍結道路でスリップした一般車両が収集車に衝突した。
- 集積所に収集車を停車していたときに、後方から乗用車に追突された。
- 収集中、廃棄物が反対車線に飛んで行ったので、それを拾おうとした際にはねられた。
- 収集車から道路に降りたところを、乗用車に足をひかれた。

## その他

- 収集作業中、スズメバチの群れに襲われ、上腕部を数箇所刺された。
- ごみの収集中、束ねてある木の束を持ち上げたところ両手をチャドクガに刺された。
- 収集車をバック誘導中、犬にふくらはぎを噛まれた。
- 不燃ごみ収集作業中に車両内での爆発により火傷をした。
- 収集中に気分が悪くなり、嘔吐したため受診したところ、熱中症と診断された。

# 3

## ごみ焼却施設 災害事例

### 動作の反動・無理な動作

- ごみをごみピットへ押し込む際の無理な姿勢により腰を痛めた。

### 飛来・落下

- 燃焼火格子下、灰落下管の閉塞状況確認のため、点検口を開けたときに内部の空気と一緒に灰が噴出して目に入った。
- 炉のバグ内部の灰除去作業中に、点検口から噴出した灰が目に入った。
- 鉄分離機シュート部の詰まりを除去する際に、詰まっていた金属片が飛んできて唇に突き刺さった。
- ごみ焼却施設でスラリータンク内部の錆びた箇所をケレン棒にて剥離作業中、飛び散った鉄片が保護眼鏡の隙間より眼に混入し、負傷した。
- 焼却炉施設の冷却ドラム内の金属塊を取り出す作業中、固定したワイヤーロープのU字フックが破断し、頭部を直撃した。

### 転倒

- ホッパー室で、コンパネを使用して、破碎後のごみをピット排出口に移動していたところ、足が後方へ滑り、転倒し、指を負傷した。
- 落じん灰シュート点検口を解放し灰詰まり除去作業中に、体積灰が落下してきたため点検口を閉めたが、灰が噴出し、あわてて点検台から降り、床に足が着いたとき、滑って背中から転倒し、負傷した。
- 収集車を誘導中、足元のごみにつまずき、転倒した。
- 投入監視員が、搬入車両の荷台の飛散防止用ネットを取り外す作業を手伝った後に、車両から離れる際、ステージサイドの段差につまずき、小指を負傷した。

### 切れ・擦れ

- 金属製粗大ごみを受け入れピットに投入する際、鋭利な金属片で指を切った。

### 激突

- 灰コンベア室での清掃作業中に、スコップで灰を集める際に、鉄製の枠に勢い余って手をぶつけ、指を負傷した。
- 収集車の脇を通過しようとして、収集車の扉部の角と頭部が衝突した。
- ダンプで作業中、荷台を上げた状態で移動したため渡り廊下の部分に接触し、顔面を強打した。

## はさまれ・巻き込まれ

- 灰詰まりのため、点検口を開け、確認中に金網を取り除こうと手を入れたところ、コンベアとケーシングの間にはさまれた。
- 始業点検時、集塵サイクロン内にのほこりを除去し、点検口を閉めようとしたところ、サイクロン内の吸引力で点検口が勝手に閉まって、指をはさみ負傷した。
- 空気用マルチサイクロン清掃・組み込み作業中、指をはさまれて負傷した。
- 焼却炉内で火格子（20キログラム程度）を床面に滑らせながら搬入していたときに、職員が受け止めきれず、火格子と焼却炉乾燥段床の間に指をはさみ、負傷した。
- 粗大ごみの詰まりを取り除く際に、鉄くずが一気に崩れ、手をはさんだ。
- 焼却施設で詰まったごみを除去後、点検口の蓋を閉じる際に指をはさんで骨折した。
- 焼却施設のごみピット前プラットホームの排水溝の掃除をする際、溝蓋をはめ込むときに指をはさんだ。
- 集塵機下部の二重ダンパーで灰が詰まったため、ハンマーで叩いて灰を取り除く作業中、指をはさみ骨折した。
- ごみ焼却炉正面扉の開閉作業時に扉と既設配管との間に指がはさまれた。
- 3名にてパレットをハンドリフトで持ち上げ受け木の上に乗せる際、合図確認が不十分なためパレットを早く降ろし、受け木の間指がはさまれた。
- 回収物を搬入する際に、荷台のあおり連結部分に指をはさみ、負傷した。
- 清掃センターの可燃物ピットへごみを投入する際、収集車の後部パネルを開けるため回り込んだとき収集車がバックし、後輪に足をはさみ、転倒し、足を骨折した。

## 墜落・転落

- 清掃工場プラットホームで車両から破砕機ピットに木材を引き降ろしているときにバランスを崩し、ピット内に転落した。
- 清掃工場プラットホームで車両からダンピングボックスに畳と畳くずを投入している際に、畳と一緒に押し出されてボックス内に転落した。
- プラットホームで粗大ごみの手降ろしをしていた際、ごみが服に引っかかり、落ちかけた委託従業員を助けようとして一緒にピットに転落した。
- ごみ収集車により、ごみを貯留ピットへ投入する際、助手が車両の後方に落ちていた針金等を拾おうとして、後退中の車両に押されて貯留ピットへ転落し、負傷した。

## 有害物等との接触

- ごみ処理施設で飛灰の固化処理設備に重金属固定剤をドラム缶から補充する際、ゴーグルを着用していなかったため薬品の飛沫が目に入り、結膜炎を発症した。
- 消石灰貯槽のレベル計の取り外し中に、噴出した消石灰を全身に被った。

# 4

## 選別・粉碎・圧縮・減容施設 災害事例

### 動作の反動・無理な動作

- ごみ分別作業中、束ねた板を紐で縛ったものを剪断粉碎機に入れようと紐を引っ張り上げたところ、板の重みで紐がずれ、手首をひねった。
- 減容作業中、ベルトコンベアのごみを取り除く際、全体重が脇腹にかかり骨折した。

### 飛来・落下

- クレーン運転時に建物が老朽化により破損し、落下した。
- 破碎不適物の区分作業中、飛び散ったガラスの破片で負傷した。
- 破碎処理作業中に、木製テーブルの破片が飛んできて顔に当たり、負傷した。
- ハンマーで三面鏡から鏡の部分を取り外したところ、ガラスの破片が眼に入った。
- 木製の椅子をプレス機にかけていた際、木片が飛び、歩いていた職員の頭部に当たった。
- 粗大ごみから布団を取ろうとした際、紛れ込んでいたミシンが足に落下し、打撲した。

### 転倒

- ごみクレーン置き場でのバケツ洗浄中、濡れた床のため足が滑り、骨折した。
- 不具合確認のためペットボトル圧縮機に近づいて、基礎部段差につまずき、膝を打撲した。

### 切れ・擦れ

- 分別する際、割れたびんが混入していたため、手を切った。
- リサイクル施設でシャンデリアを廃棄する際、ガラス部で手を切った。
- ドラム缶の整理中、ドラム缶の口のバリで指を切った。
- プレス機で圧縮した鉄屑のブロックを持ち上げたとき、ブロックの角で手を切った。
- ベッドを剪断中、スプリングマットのスプリングが手を貫通した。
- ごみクレーンワイヤーロープ取り替え作業中、ささくれ立ったロープが手に刺さった。
- 角材の前処理として電動鋸で切断作業中、指が皮手袋の上から刃に接触し、負傷した。
- ごみ袋の中身を確認するため、鎌で袋を切っている際に誤って手を切った。
- 粗大ごみを細かくしていたとき、カッターの刃先が折れ、その反動で足を切った。
- 不燃物処理場で、傘を解体中、誤ってカッターで指を負傷した。

### 激突

- 身長より低いコンベアの下を通り抜け、立ち上がる際に頭を強打した。
- 容器包装プラスチックの圧縮梱包機内のごみ除去中、機械の扉の棒に頭を打ちつけた。
- 回転フォークリフトを運転中、目測を誤り、消火栓カバーに衝突した。

## はさまれ・巻き込まれ

- ごみをベルトコンベアに乗せる作業中、コンベアに手を巻き込まれた。
- ベルトコンベアの異物を取ろうとして、袖が巻き込まれ、腕まで巻き込まれた。
- ペットボトル選別中、搬送用のベルトコンベアの詰まりを除去しようとして、ベルトとローラーの間に手を巻き込まれた。
- 缶プレス後、ごみを取ろうとして手を入れた際、扉が締まり、はさまれた。
- 工場内のドラム缶置き場でドラム缶を移動していたところ、ドラム缶とドラム缶の間に指をはさみ負傷した。
- 粗大ごみ処理施設の破砕機周辺で、ごみ詰まり除去作業中に手動操作の小型ウィンチを操作していたところ、ウィンチと天井の間に指をはさまれ負傷した。
- 穏やかな坂道にショベルを停止させ、車輪止めをしようとしたところ、シャベルが動き出したので慌ててしまい、ショベルと車輪止めの間に指をはさみ負傷した。
- ごみ圧縮梱包作業で、ごみの反発により圧縮機械投入扉を閉じることができなくなったことから、3人で扉を閉めようとした際に1人が扉とフックの間に指をはさんだ。
- 古紙梱包機で作業員が番線の結束できていない部分が発生していることに気付き、古紙梱包機の結束部分を直そうと手を出したところ、指を番線にはさまれ負傷した。
- リサイクルプラザ内で、回収した資源の分別作業を開始する際、パッカー車の後部作業ドアで指をはさんだ。

## 墜落・転落

- クレーンのバスケット上部を清掃中、落下し、骨折した。
- 不燃物可燃物等分離装置内のごみを取り出し中、つまずき、持ったごみとともに落下した。
- コンベア上部より下に降りようとした際、足を踏み外し転落し、左手首を骨折した。
- 粗大ごみ破砕処理施設にて、ショベルローダーの運転席から降りる際、足を滑らせ転落し、捻挫した。
- 廃鉄くず等の整理作業中、電線が作業の支障となるため鉄板の上に乗ったところ、転落し、足を負傷した。

## 有害物等との接触

- 不燃物ガラス処理の際、びんの中に入っていた農薬により作業員7名が目の痛みを訴え、救急搬送された。

## その他

- ごみの中に紛れ込んでいた虫に刺され発疹した。
- 不燃ごみの選別作業中、足元に散乱していたガラス片が足に刺さり負傷した。
- 資源リサイクルの減容作業中に熱中症により気分が悪くなり、倒れた。

# 5

## その他作業場 災害事例

### 動作の反動・無理な動作

- 軽トラックからごみを降ろす補助をしていたところ、車が少し動き、足の重心がずれて加重が掛かったため、ふくらはぎに激痛が走り、歩行困難となった。
- 搬入車両を誘導中、車両が一方通行の通路を逆走したため、あわてて呼び止めようとして、ふくらはぎを負傷した。
- 場内工作室の扉を修理後、溶接機を運ぶ途中、段差のあるアスファルト縁石を通過する際、足の筋を痛めた。
- 最終処分場でトラックに積んだ塩化カルシウムを降ろすため、荷台に乗ろうと荷台上部に掛けた手に力を入れたところ、手首を捻挫した。
- 車両通行に支障のある樹木を切断するため、チェーンソーを持ち上げたところ、腰部を捻挫した。
- マンホールの鉄蓋を開ける際、無理な姿勢により腰を痛めた。

### 飛来・落下

- 杭打ち作業中に、ハンマーの頭部が抜け、腹部を強打した。
- トラックにラックを積み込み、散乱したガラス片を清掃していた際、ラックが、荷台より落下し、頭を打撲挫創した。
- 小型ダンプの荷台後部のあおりが足に落下し、負傷した。

### 転倒

- 施設の点検中、階段を踏み外して転倒し、足指を骨折した。
- 計量棟で持ち込まれたテレビを受け取り、移動しようとしたときにつまずいて転倒し、手首を骨折した。

### 切れ・擦れ

- ディスクグラインダーの取っ手を順手から逆手に持ち替えた際に、グラインダー回転部分に左手が接触し、負傷した。
- 工場棟内において、二人でディスクグラインダーによって金属パイプを切断中、Aの持つグラインダーの砥石がBの指に当たり、負傷した。
- 炉内にて溶接作業中、切断した鉄筋の切り口で手を切った。
- ベルトコンベア給油作業中、電動機の冷却用ファンに接触し、負傷した。
- 高速切断機による作業中に、切り出し部の位置を補正しようとして手を伸ばした際、機械に接触し、負傷した。

## 激突

- ガス溶接機でダクト切断作業後、身体を後ろに引く動作をした際、足元の防災シートの下で空間でバランスを崩し、腕が付近の工作物に当たり、負傷した。
- 残土置場の残土容量の測量業務のため、車両に測量機材を積み込み、車両の後部跳ね上げ式扉を閉めた際、扉の角で頭部を強打した。
- 埋め立て処理場で散水車に乗り込む際、バランスを崩し、胸部を打撲した。
- 焼却棟内の機器点検作業後、振り返りざま鉄骨に鼻を強打し、顔面を切った。
- 工作室入室の際、溶接機用台と左手甲が接触し、打撲した。
- 日常巡視点検中、通行口（高さ130センチメートル、幅110センチメートル）をくぐろうとした際、階段につまずき、通行口上部に頭部をぶつけて負傷した。

## はさまれ・巻き込まれ

- 電球の交換のためスライド式移動梯子の取扱い中に、指を梯子の稼動部分にはさんで負傷した。
- 燃烧押込送風機のグリスを抜き取り中、モーターに掴まろうとして、カバー下のグリス受け穴に手を入れてしまい、ファンで指をはさまれた。
- 焼却灰処理用トラックの荷台を修理中、降下してきた荷台とあおりの間に指がはさまれ指を切断した。
- ウィンチ用滑車を格納する際、ワイヤーと滑車との間で指をはさんだ。

## 墜落・転落

- 工場棟の中2階で機械の修理作業中、金網の床が抜け、約3メートルの高さから転落した。
- 点検を終え足場を降りる際、足を滑らせ床に転落した。
- 配管の水漏れ修理時、さび止め塗料を塗ろうとした際、2枚敷いていた足場板の1枚が折れたためバランスを崩して後ろ向きに落下し、腰を強打した。
- 地下室の機械を点検するため、壁に立てかけてある梯子で地下に、2、3段降りたところ、地下の床面の油と水で梯子が滑り、転落した。

## 有害物等との接触

- 溶接作業で作業補助をしていたところ、溶接光を直視したことにより目を負傷した。

## その他

- カラーコーンを持ち上げたところ、出てきた蜂に刺された。
- 最終処分場で測量中、手を害虫に刺された。
- シール材交換作業中、高温な作業環境のため脱水症状になった。

# 6

## 事務所 倉庫 ほか 災害事例

「① 出発準備 駐車場」の災害事例も含まれています。

### 飛来・落下

- テーブルを持ち上げた際に、うっかりテーブルを離し、足の上に落ち負傷した。

### 転倒

- 施設内の階段を下りる際、支えていた手が滑ったため前のめりになり、転倒し頭を負傷した。
- 施設内で階段を踏み外し、転倒して股関節を痛めた。
- 両手に道具を持ち階段を下りる際、両手がふさがっている状態で滑って転倒し、受け身が取れず腰を打った。
- 設備内の階段を下りる際、グレーチングの段差に足を取られ、バランスを崩し、転倒し負傷した。
- 床のワックス掛け後、ワックスがまだ乾いていない床面に足を踏み入れ、滑って転倒した。
- 構内移動中、前日からの冷え込みにより凍結していた路面に足を取られ、滑って転倒した。
- 構内で手作業による除雪を行ったところ、作業員が凍結箇所ですって転倒し、足首を骨折した。
- 場内で後片付け中、コンクリートの段差に躓き転倒し、腰を打った。
- 場内巡視中、グレーチングでつまずき、転倒し、胸部を強打した。
- 場内移動中、ほどけた自分の靴紐に足を取られ、転倒し、肩と腕を打った。
- 屋外移動時に駐車場の縁石につまずき、転倒し、肘を骨折した。

### 切れ・擦れ

- 業務終了時、場内の清掃中、天井クレーンの爪部に側頭部が接触し、耳たぶ内側を切った。
- 敷地内管理のための草刈り作業中、草刈り鎌を持ち替えようとしたところ、木に接触し、そのはずみで草刈り鎌の刃で指を切った。
- 刈り込みバサミの手入れ中、さび止めスプレーをふき取っていた際、指を切った。

## 激 突

- 大型モップで床の掃除中、急いで移動しようとモップの柄をお腹の高さに持ち上げながら駆け出した際、モップの先端が構造物に引っ掛かり、柄の部分で腹部を強く突いた。
- 作業現場に向かうため、本来の通路でない近道を歩いた際、頭上の支柱に前頭部が当たり、負傷した。
- コンセントにプラグを差し込み、立ち上がる際にダクトに頭を強打した。
- 鉄骨の梁をくぐろうとして、頭部を強打した。
- 施設敷地内においてショベルローダーで作業中、リサイクル施設屋内から左折したところ、左に駐車していた公用車に激突した。
- ごみ収集車を洗車中に架装の金具で頭部をぶつけた。

## はさまれ・巻き込まれ

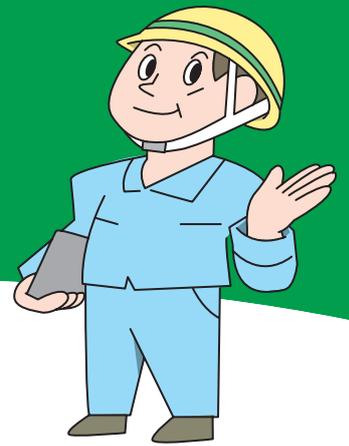
- ドアに指をはさみ爪を剥がした。
- 備品庫内の廃制御盤を3人で抱えて移動させていたところ、出口扉枠と廃制御盤の間に手をはさみ負傷した。
- バグフィルター上部のマンホールを開けて作業中に、マンホールの固定を怠り、マンホールを閉めたときに足をはさんだ。

## 墜落・転落

- キャスター付の椅子の上に上がって物を取ろうとした際に転落し、頭を打撲した。

## その他

- パッカー車を洗車中、落ちていた釘が足に刺さった。
- 草刈り作業中、蜂に襲われ、首と手を刺された。
- 敷地内管理のための草刈り作業中、蜂に指を刺された。
- 刈り払い機で作業中、釘状の物を踏みつけ、足に刺さり負傷した。
- 選別室から安全靴を脱いで待機所に入ったとき、びんの破片が足裏に刺さった。



職場環境改善アドバイザー  
優良事例活用事業ワーキンググループ



## 「職場環境改善アドバイザー優良事例活用事業ワーキンググループ」 委員名簿

(敬称略)

座長	酒井 一博	公益財団法人 労働科学研究所 常務理事・所長
委員	小出 勲夫	株式会社 IK安全サポート 代表取締役
	佐々木 邦臣	中央労働災害防止協会 技術支援部次長
	藤田 政次	中央労働災害防止協会 中部安全衛生サービスセンター専門役安全管理士
事務局	財団法人 地方公務員安全衛生推進協会	調査研究課

## 「職場環境改善アドバイザー優良事例活用事業ワーキンググループ」開催実績

### ◆ 第1回 ◆

日付：平成24年7月13日（金）

場所：財団法人地方公務員安全衛生推進協会内

議事：職場環境改善アドバイザーデータベースの作成について

### ◆ 第2回 ◆

日付：平成24年9月20日（木）

場所：財団法人地方公務員安全衛生推進協会内

議事：①職場環境改善アドバイザーデータベース（清掃事業部分）の検証について  
②アドバイス集（清掃事業）の作成について

### ◆ 第3回 ◆

日付：平成24年12月5日（水）

場所：財団法人地方公務員安全衛生推進協会内

議事：アドバイス集（清掃事業）素案について

### ◆ 第4回 ◆

日付：平成25年2月8日（金）

場所：財団法人地方公務員安全衛生推進協会内

議事：アドバイス集（清掃事業）について

# MEMO

# MEMO

# MEMO

参考にしたい  
職場環境改善アドバイザー  
アドバイス集

清掃事業編

